

虐待とハラスメント防止に関する
研修の手引き
および
研修リーダー用手引き



ROTARY INTERNATIONAL®

虐待とハラスメント防止に関する
研修の手引き



ROTARY INTERNATIONAL®

「虐待とハラスメント防止に関する研修の手引きおよび研修リーダー用手引き」は、ロータリアンが、国際ロータリーの青少年プログラム参加者にとって安全で保護された環境をつくるための一助となるよう作成されました。地区ガバナー、地区青少年保護役員をはじめ、インターアクト、RYLA、青少年交換に関わるすべての地区指導者は、この資料を一読しておく必要があります。地区はまた、スカウト活動や指導といった青少年関連のプロジェクトや、高齢者および障害者といった社会的弱者との活動に際しても、これらの指針を活用するとよいでしょう。

研修の手引きは、地区が青少年を保護するため、虐待とハラスメント防止プログラムを効果的に立案し、実施するための情報や指針を提供しています。中には、青少年と活動を共にする成人ボランティアの適切な審査方法（プライバシーの問題や記録の保存などを含む）、青少年参加者の選出、ロータリアン、ロータリアン以外のボランティア、学生を対象とした効果的な研修プログラムといった主題が含まれています。

研修リーダー用手引きでは、青少年プログラムに関わるすべてのロータリアンを対象とした虐待とハラスメント防止のための研修セッションをはじめ、地区青少年交換委員会委員、クラブのカウンセラー（顧問）、ホストファミリー、学生とその両親のための青少年交換特別研修セッションを取り上げています。



青少年交換のみに関する項目は、このマークが付され、他の部分とは区別されています。

目次

認識と防止	1
青少年と接する際の行動規範に関する声明	1
虐待とハラスメントの定義	2
虐待やハラスメントの兆候	3
地区の青少年保護方針の立案	4
ボランティアの選考と審査	6
ボランティアの研修	7
報告と事態解決のための措置	8
報告	8
事態解決のための措置	9
各役職における責務	10
地区ガバナー	10
地区青少年保護役員	11
地区調査委員会	11
補遺資料	
A. 青少年交換における虐待とハラスメント防止に関する地区の方針の見本	13
B. 性的虐待およびハラスメントの申し立て報告に関する指針	19
C. 青少年ボランティア誓約書	23
D. その他の支援源	26

国際ロータリーは、青少年に対する奉仕で多大な成果を上げてきた長い歴史を誇っています。毎年、250,000人以上の青少年が、インターアクト、ロータリー青少年交換、RYLAといった国際ロータリーの青少年プログラムに参加しています。さらに、数多くのクラブや地区が行う指導プログラム、予防接種活動、職業訓練プログラム、識字率向上プロジェクトなどのさまざまな活動は、特に若い人々を支援することを目的としています。

近年、青少年の参加者が関わるすべてのプログラムにおいて、性的虐待やハラスメントの申し立ての数が急増しています。児童性犯罪者は、児童や未成年者に簡単に近づくことができる指導役やコーチなどの役割に就くチャンスを探しているため、青少年と活動するあらゆる団体は危険にさらされています。青少年との活動に熱心な大人の多くは、若い人々を助けることに一心で、自分たちの信頼を悪用しようとする人がいるなどと思いません。

しかし残念ながら、虐待の問題の心配がまったくない団体はなく、最も安全と思われるような状況でさえもこうした問題は起こりうるのです。実際、通常多くの信頼を寄せられている団体といえども、青少年と活動する機会は、犯罪を起こす可能性のある人々を惹きつけているのです。

国際ロータリーは青少年保護を非常に重大に受け止めています。性的虐待の話題がより広く話し合われるようになるにつれ、青少年プログラムに関わるロータリアンは、地区や地域レベルで虐待防止の手続を定め、こうした問題に取り組んできました。ロータリアンは、虐待が起こる前にそれを防止することで安全な環境づくりに貢献し、万一問題が起こってしまった場合でも、適切な対応を心がけています。

青少年プログラムにおける虐待とハラスメント防止への包括的な取り組みには、肉体的および精神的な虐待や放置（ネグレクト）を認識することが含まれます。こうした問題はより広く理解され、取り扱われているため、本手引きの資料の多くは性的虐待やハラスメントの防止に焦点を当てています。

本出版物は、そうした努力の積み重ねに基づき、地元の法律や状況に応じて調整できる青少年保護の資料一式を提供するために作成されました。国際ロータリーは、同資料を作成するにあたり、クラブや地区の保護下にある青少年を性的虐待やハラスメントから守る最良の方法や、現在ロータリー地区で行われているベスト・プラクティス（最善の実施方法）を取り入れる方法について、虐待防止の専門家からの助言を仰ぎました。ロータリアンは、青少年を守るため、また国際ロータリーの青少年プログラムが若い人々に素晴らしい指導力研修や異文化交流の機会を提供し続けられるよう、これらの資料を活用することができます。

認識と防止

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしている。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアの人々は、ロータリーを通じて関わる児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待を防止して、彼らの身の安全を守るために最善を尽くす責任がある。

2002年11月、RI理事会により承認

この行動声明は、青少年と活動するあらゆる状況でロータリアンが守るべき基本的な原則を規定しています。特別な計画や手続を備えた虐待防止プログラムによって、ロータリアンやその他のボランティアがこの規範に従って行動するのを促すことができます。さらに、こうした取り組みを率先して行うことは、国際ロータリーの青少年育成への献身を実証し、虐待の問題を防止したり、そこから起こる悪影響を緩和させるほか、青少年プログラムを長期的に運営できるよう保証し、参加者やその両親からの信頼を高めることにつながります。

大人が問題を認識しなかったり、認めなかったりするために放置されている、青少年の虐待やハラスメントの実例は非常に多く存在しています。効果的な青少年保護方針には、関与する大人が虐待の可能性を認識し、かつ虐待防止に十分配慮することが肝要です。

以下の点を考慮してください。

- 青少年は、問題を公にすることで、さらにひどい結果を引き起こすのではないかと恐れ、性的虐待を報告しないことがしばしばあります。
- 児童虐待では、加害者が、被害者に責任があるかのように感じさせて言い伏せるため、報告されない事例がよくあります。
- 多くの場合、児童性的虐待の被害者は成人するまでその事実を隠しておくものです。
- 虚偽の性的虐待申し立てと実証されているのは、わずか約1～4パーセントのみです。

- 子供は、こうした問題を誇張したり過大に報告するよりも、虐待の事実を過小に報告したり否定する傾向があります。
- 児童をターゲットとした性的加害者は、青少年に携わる成人の適正審査が甘く、保護の決まりが徹底されていない青少年団体に狙いを定め、子供たちと接触する機会をうかがうことが明らかになっています。

虐待とハラスメントの定義

問題への認識を高めるため、青少年と活動するすべてのロータリアンは、虐待やハラスメントとは何であるかを十分に理解しておく必要があります。

精神的または言葉による虐待とは、世話をする青少年の行動をコントロールするために、大人が脅威、侮辱、または言葉による攻撃を行うことです。例として、青少年を拒絶すること、普通の社会的関係を築くのを妨げること、本人の人種、宗教または個人的な容姿について軽蔑的な発言をすること、などが挙げられます。

肉体的虐待とは、痛み、傷、その他の肉体的な苦痛や危害を与えることを目的として肉体的に接触し、若い人々を虐待することです。

放置（ネグレクト）とは、（明らかな経済的理由なしに）青少年の福利に必要とされる十分な食糧、衣類、住居、医療サービスを提供しないことです。

性的虐待とは、青少年に対して間接または直接に性的な行動を及ぼすこと、あるいは青少年が単独または同性・異性および年齢を問わず、他の人との間接または直接的な性的行動に及ぶことを強制あるいは促すことです。性的虐待の例には、公然わいせつや青少年に性的資料またはポルノ類を見せるなど、接触のない攻撃も含まれます。この定義は、国際ロータリーの青少年プログラムの参加者すべてに適用されます。

性的ハラスメントとは、性的な誘いかけ、性的行為の要求、あるいは性的な性質を持つ口頭または身体的言動を指します。時に、性的ハラスメントは性的虐待へと発展し、性犯罪者が被害者の感覚を鈍らせたり、手なずける手法として用いられる場合があります。性的ハラスメントには次のような例があります。

- 性的な言葉、冗談、性的言動に関連する書面あるいは口頭による言及、個人の性生活に関する噂話、個人の性的活動、欠陥、能力に関する言及
- 性的な性質を持つ言葉による虐待
- 性的な示唆を含む物、写真、絵などの提示
- 性的な示唆を含む視線や口笛、衣服に付いたゴミを払い落としたり、触るなどの不適切な身体的行動、卑猥な言語または身振り・手振り、および性的示唆や侮辱を含む言葉

以下のような「誤解」は、虐待とハラスメント防止に関する効果的なプログラムを作成する際の障害となっています。

- 「性的虐待は、性的指向に関係するものである。」ほとんどの性的虐待とセクハラは、実際には、権力と支配に関係するものです。
- 「女子のみが危険にさらされている。」被害者の大多数は女子ですが、男子も危険にさらされています。ある調査によると、16歳未満の男子の6人に1人は、自分の意思に反して年上の人物と直接性的な接触を体験しているのです。
- 「男性のみが加害者である」
- 「女子は男性からのみ狙われており、男子は女性からのみ狙われている」

- 「性的虐待は常に明白である」
- 「虐待者の多くは被害者の知り合いではない。」虐待者の多くは被害者に知られ、信頼された人物です。

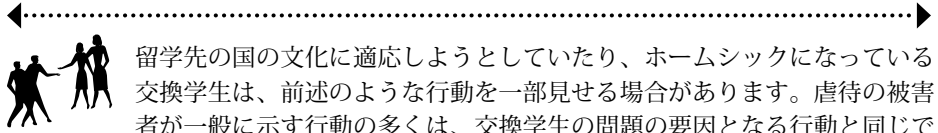
虐待とハラスメントの兆候

ロータリー青少年プログラムに参加するロータリアンとその家族、ロータリアン以外のボランティア、そして青少年参加者の両親は、虐待の危険信号を示す以下のような身体または行動の変化に気付く必要があります。*

- 繰り返しのけが、または事故の説明と一致しないけがといった身体的な虐待のサイン
- 行動の変化、極端に激しい感情起伏、引きこもり、恐怖、過度な号泣
- 特定の場所、人、活動に対する恐怖心、特定の人物とふたりきりになることを嫌がる
- 重度の不安症
- 摂食障害、自傷、その他の関連行動を含む、またはそれにつながる歪んだ身体イメージ
- 自己嫌悪
- 過度に攻撃的な行動
- 学校での問題や課外活動へ参加しなくなる
- 抑制
- 乏しい友人関係、孤独
- 悪夢または夜間恐怖
- 性または性行為について写實的または年齢にふさわしくない知識
- 自殺未遂または自殺をほのめかす
- 強迫行動
- 薬物またはアルコールの乱用
- 権威や規則に対する反抗

こうした行動は、虐待やハラスメントが行われている可能性を示す兆候とみなされるべきであり、成人ボランティアはその青少年と時間をとって、実際に何が起きているのかを明らかにする必要があります。世話をする青少年と積極的に関わることによって、行動の変化を観察することができ、「十代の典型的な行動」ともとれる上記の多くの行動よりも、より正確な虐待のサインを見つけることができるはずです。通常、社交的で自信に溢れていた若者が引きこもり、静かになってしまった場合は、虐待の可能性があり、その青少年の世話をする大人はなぜ行動の変化が起こったのかを解明する必要があります。その青少年と思春期・青年期の子供たちを専門とする精神衛生の専門家と話し合いの場を設けることも検討してください。

*米国ニュージャージー州ショートヒルズのボリンジャー社作成の資料に基づく。

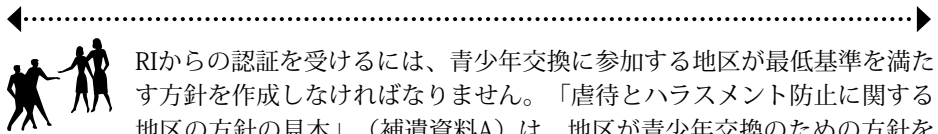


留学先の国の文化に適応しようとしていたり、ホームシックになっている交換学生は、前述のような行動を一部見せる場合があります。虐待の被害者が一般に示す行動の多くは、交換学生の問題の要因となる行動と同じであり、学生の早期帰国という結果をもたらすことになります。

「問題児」や「ホストファミリーと折り合いが悪い」とレッテルが貼られてしまう学生は、ホストファミリー内の大人、友人、または到着前に母国の誰かから虐待を受けていた可能性もあります。

地区の青少年保護方針の立案

それぞれのロータリー地区は、各自の青少年プログラムについて、性的虐待やハラスメント防止に関連した適切な青少年保護方針を立案する必要があります。方針は、プロジェクトの種類や規模、青少年が関与するプログラム、参加クラブ数、地元の法律などによって、地区ごとに異なります。青少年プログラムに関与するロータリアンは、大切な初めの一步として、虐待やハラスメントに関する地元の法律を完全に把握し、その情報を地区の方針に織り込むべきです。



RIからの認証を受けるには、青少年交換に参加する地区が最低基準を満たす方針を作成しなければなりません。「虐待とハラスメント防止に関する地区の方針の見本」（補遺資料A）は、地区が青少年交換のための方針を立案する際の参考となるほか、青少年と関わるその他のプログラムやプロジェクトの方針にも拡大応用することができます。RI地区や他団体が採用している方針の例については、Eメール（programs@rotary.org）にてお問合せください。

地区の青少年保護方針を立案する際は、どのような問題が起こりうるかを想定してください。特定の活動が行われる環境に関連したリスクを調べ、事故やその他の問題が起こるのを防ぐためにできることは何かを考えます。問題が生じたときのための対応方法を計画し、常に緊急時の対応を準備しておきます。

地区の青少年保護方針を立案する際は、以下の事柄を考慮に入れてください。

- 物理的な安全性（地区が所有または賃借し、青少年プログラムの活動が行われている建物、リスクや危険を伴う活動について）
- 青少年参加者のプライバシー（特に個人情報の保護、合宿やホストファミリーの家での滞在）
- 青少年が利用するボランティア診療所の適切な医療免許の有無
- あらゆる青少年活動における監督の度合い
- プログラム活動外での青少年との接触
- 抱擁やその他の接触など、普通の身体的な触れ合いの定義
- 応急処置や保険の準備を含め、病気、けが、事故の場合
- 関係する成人の免許や保険など、自動車に関する指針

重要な方針の要素

地区の虐待とハラスメント防止に関する効果的な方針には以下の内容が含まれます。

- 「青少年と接する際の行動規範に関する声明」からの引用を含む方針声明
- 青少年プログラムに参加する地区内すべてのクラブが、地区の虐待とハラスメント防止方針を守ることを確約した遵守声明
- 地区方針を遵守することに伴うクラブの責務の概要
- 青少年との接触を伴うボランティア任務の包括的なリストと、それぞれに必要なとされる審査の度合い
- 審査および選考の手続（書面による応募、身元調査、個人面接、家庭訪問）およびボランティア選定の基準
- 青少年と活動するボランティアの研修の手続
- 虐待やハラスメントを防止するため、監督や行動について特定の指針を提供する青少年保護の提案
- サイト内の特定のページをパスワードによって保護するなど、青少年参加者の記録、イメージ、個人情報の保護やプライバシーを定義する、ウェブサイトについての指針
- 虐待やハラスメントのすべての申し立ての記録を極秘として管理、保管するための計画
- (1) ロータリー青少年プログラムへの参加を禁じられた大人をプログラムから排除すること、また(2) 情報が極秘として扱われることを確実にするためのシステム
- 地区青少年保護役員の資格条件や責務を詳細に説明した任務内容（任務内容の見本は11ページを参照）
- ロータリー青少年プログラム参加者用として、最近または過去の性的虐待やハラスメント事例についての報告および対応に関する指針
- 定期的なプログラム評価の計画
- 地区方針の定期的な検討の手続

その他の青少年保護方針

補遺資料Aの方針の見本は性的虐待とハラスメント防止のみに適用されますが、地区は、青少年の安全に関わるその他の問題にも対処するため、同方針を拡大することができます。例えば、地区は青少年プログラム参加者の移動のための自家用車の使用に関する指針を定めることができます。青少年交換以外のプログラムは、成人ボランティアと青少年プログラム参加者が1対1で接触するのを禁じる方針を採用することもできます。例えば、米国のボーイスカウトでは、「two-deep」リーダーシップ方針が勧められています。この方針では、審査を受けた2人の大人が旅行や外出の全行程中に同行し、大人1人と子供1人で個人面談は他の人々から完全に見える形で実施されるよう義務付けています。地元でも、青少年に奉仕する他団体に、どのような方針を設けているかを尋ねてみてください。

ボランティアの選考と審査

青少年保護方針の重要な要素は、成人ボランティアの選考と審査です。地区は、プログラムへの関心と青少年と活動するための適性を示しているボランティアを選ぶよう努める一方で、青少年参加者に危害をもたらすことがないよう候補者を審査する手続が必要です。審査のレベルは、ボランティアが希望する任務、任務における接触の度合い（偶発的・まれ、頻繁など）、参加者との接触の種類（グループまたは個人）によって異なります。例えば、教員の監督下で子供と活動する地元小学校でのボランティア指導役よりも、青少年交換学生のホストファミリーの方がより包括的な審査手続を受ける必要があります。

信頼における青少年プログラム管理にあたっては、成人ボランティアを探し、審査し、研修するための膨大な時間が必要とされ、クラブや地区はさらに、青少年参加者が十分に保護されるよう必要な管理運営任務も引き受けなければなりません。これは、プログラムを支え続けるために十分なボランティアを探すのが難しい場合でも、選考基準を厳守しなければいけないことを意味しています。審査を受けることを拒む成人ボランティアは、国際ロータリー青少年プログラムへの参加から排除されなければなりません。

申込用紙

監督なしで青少年との接触をもつ成人ボランティアはすべて、身元保証人の欄を含む申込用紙の記入が義務付けられるべきです（青少年交換用に作成された申込用紙の見本は補遺資料Cをご参照ください）。申込用紙には、最低でも、応募者が若い人々への虐待またはハラスメントに関する過去の犯罪歴がないことを示す声明が含まれるべきです。また申込用紙では、任務に関連した特定の専門分野または青少年と活動した過去の経験について尋ねるとよいでしょう。

面談

監督なしで青少年と接触する任務を含むボランティア応募者はすべて、個人面接を受ける必要があります。経験のある委員会委員が面接官を務めます。ホストファミリーの候補については、家庭での面接を少なくとも1回行います。面接官には、家庭訪問を行う際に尋ねるべき質問や確認すべき点についての指針が与えられます。

経歴照会

申込用紙に身元保証人の氏名を記入してもらっただけでは十分ではありません。それぞれの保証人に電話をしたり、直接に会うなどして、以下のような決まった質問を尋ねてください。

- いつ頃からこの人物をご存知ですか。どのようなご関係ですか。
- 青少年と活動するにあたって十分な資質を備えていると思いますか。
- この人物を_____（役職・任務）に推薦するにあたって、特に注意すべき事柄はありますか。
- この人物の雇用年月日をご確認いただけますか。

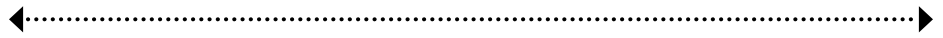
面会の日付と各質問に対する応答を記録し、これらの情報をボランティアの申込用紙と合わせて保管します。

身元調査と犯罪歴調査

身元調査は、犯罪を犯す可能性のある人物を回避し、また既に犯罪歴のある人物をプログラムから排除することで、青少年保護方針における重要な役割を果たします。犯罪歴がなく、法からたくみに逃れてきた加害者は多いものの、身元調査を行うことで、こうした人物が地区プログラムのボランティアとなるのを抑制することができます。青少年に奉仕する団体の多くは、監督下で青少年と接するプログラムでさえも、青少年と活動する成人ボランティアすべてに犯罪歴調査を義務付けています。

ボランティア審査で集められた極秘情報へのアクセスを限定すべきです。面接や身元調査では、扱いに慎重を期すべき情報が明らかになることもあり、ボランティア候補者として不適格にはならずとも、これらの情報は極秘として扱われる必要があります。誰がこうした情報を集めて保管し、誰が必要に応じてその情報にアクセスできるのかを明記した指針を作成してください。地区が犯罪歴調査を外部調査会社に委託する場合、その会社が地区の代わりにこうした情報を収集し、保管することができるかどうかを確認してください。

地区は、青少年関連のどの活動について成人ボランティアの犯罪歴調査を義務付けるのかを決定する必要があります。例えば、14～18歳までの学生を対象とした地区RYLA合宿では、すべてのカウンセラーが犯罪歴調査を受けるべきですが、RYLAの登録を担当するロータリアンのボランティアはその必要がないかもしれません。監督なしで若い人々に接する役割に就くボランティアはすべて、犯罪歴調査を受けるべきです。



青少年交換プログラムは、同プログラムに関与するすべての成人（ロータリアンおよびロータリアン以外）、すなわち委員、ホストファミリー、クラブのカウンセラーといった人々は、青少年ボランティア誓約書に記入、署名し、犯罪歴の確認と経歴照会を受けることに同意しなければならないと義務付けています。

記録の保管

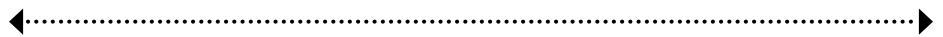
地区は、記録を保管して維持する方法を決定し、極秘扱いとして閲覧を制限する手続を確立します。記録をどれだけの期間保存する必要があるかについては、地元の法律を調べてください（記録を永久に保存する場合があります）。

ボランティアの研修

ボランティアの研修は、虐待とハラスメント防止プログラムの成功に不可欠なものです。すべての研修に虐待とハラスメント防止の情報を含め、それぞれのボランティアの役割ごとに特別な研修を企画します。ボランティアは、どれくらいの頻度で研修を受けるべきか、またどのボランティアが特定の研修セッションを完了したかを記録するための指針を確立します。

例えば、「ロータリアンとの読書会」というクラブ・プログラムでのボランティア用研修は、子供たちの読書を支援する手法にだけ焦点を当てるのではなく、子供との接し方、身体的接触に関する制限、プログラムの監督必須事項などの指針についても説明します。RYLA合宿のボランティア研修ではより幅広い内容を扱い、心肺機能蘇生法（CPR）の認定、指導力養成研修の技能、そして虐待やハラスメントの申し立ての報告方法に関する情報などを盛り込みます。

本手引きに付随する研修リーダー用手引きには、国際ロータリー青少年プログラムで活動する成人ボランティアのための特別研修セッションが収められています。地区は、文化的な配慮、地区に特有の方針、その他プログラムに特別な事柄などを含め、この内容を調整することができます。



虐待とハラスメント防止研修は、すべての成人ボランティア、青少年交換派遣学生および受入学生に義務付けられています。

報告と事態解決のための措置

国際ロータリー・プログラムにおける青少年参加者の安全と福利を守るためには、虐待やハラスメントのすべての申し立てを深刻に受け止め、次の指針に従って対応しなければなりません。

申し立ての報告

こうした申し立てが適切に取り扱われるよう、地区は以下の報告の手続に従う必要があります。

- 虐待やハラスメントの申し立てがあった際に、連絡を受ける特定のロータリアンを指定し、報告の方針を確立します（クラブや地区が地元の法律に合わせて実施すべき報告指針の見本は、補遺資料Bをご参照ください）。氏名と連絡先をすべての成人ボランティア、プログラム参加者および両親に知らせてください。
- 学生の安全のための手配を行います。犯罪にあたる虐待やハラスメントの申し立ての報告を受けた最初の成人は、直ちにこの申し立てを適切な当局へ報告しなければなりません。
- 犯罪に当たる虐待やハラスメントのすべての申し立てを、適切な当局（児童保護課、社会福祉課、または地元の警察）に報告し、調査を行ってもらいます。地区青少年保護役員に通知します。



青少年交換学生が関与するすべての申し立てや深刻な事態（事故、犯罪、早期帰国、死亡）については、72時間以内にRIへ報告を行ってください。

米国では、中等教育課程にある学生の交換プログラム参加者について、実際に起きた、または申し立てのあった性的搾取や虐待の事件または申し立てを国務省に報告することが連邦法によって義務付けられており、地元や州でもそれぞれの法律に従って報告が必要です。

事態解決のための措置

申し立てが行われ、警察や児童保護当局が調査を実施した後、関係するロータリアンは以下の行動を取る必要があります。

- 性的虐待あるいはハラスメントの申し立てを受けたいかなる大人も、問題が解決するまでは、青少年との一切の接触を断つ。
- 警察や児童保護当局に十分に協力し、調査の妨害をしない。

青少年プログラムに関与するロータリアンやその他の大人の多くは、申し立てに関する法的影響やその深刻さを判断する訓練を受けた専門家ではありません。よって、申し立てが虐待やハラスメントに関係するかどうかを自分たちだけで判断すべきではなく、青少年の虐待またはハラスメントに関する申し立てへの対応を心得ている青少年保護当局、警察、あるいは地区青少年保護役員と緊密な相談をした上で決定を下す必要があります。

警察や青少年保護当局が調査を終えた後、地区ガバナー、地区青少年保護役員、地区調査委員会は、状況を見直し、すべての地区方針が守られていたかどうかを確認し、不十分であったところを正すようこれからの対策について提案を行います。

- クラブは、性的虐待あるいはハラスメントを自ら認め、あるいは有罪であると宣告され、あるいはそれに関与したと認められたいかなるロータリアンも、その会員身分を終結しなければなりません。ロータリアン以外の同様の人物は、ロータリーにおいて青少年と活動することを一切禁じられなければなりません。
- 性的虐待やハラスメントの申告に対する調査で結論が導き出されなかった場合、申し立てで指名を受けた人物と将来接触を持つであろうすべての青少年を守るべく、さらなる保護措置が講じられなければなりません。後に嫌疑が晴れた当人は、ロータリー青少年プログラムへの参加への復帰を申し込むことができますが、復帰は権利ではなく、元の活動に復帰できるという保証はありません。

警察機関が関与しない場合

時に学生は、地元の法律ではハラスメントとして報告義務のない行為についても、不快に感じたことを報告してくる場合があります。学生が成年である場合でも、青少年とボランティアの間に生じた、相手が不快に感じる性的行為はいかなるものも不適切とみなされることに注意してください。

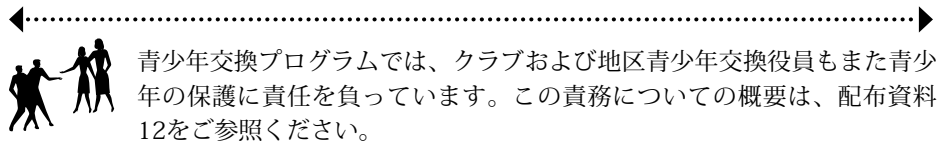
地区は、地元の法律の下ではハラスメントの域に達しない申し立てに対応するため、特定の手続を文書化しなければなりません。ロータリアンはまず、不適切な行為をやめさせ、将来の再発を防止するための対応を取らなければなりません。さらに、行動のパターンを探るため、すべての告発と解決のために取られた対応を記録するほか、問題に関与したすべての当事者の見解も記録しておくべきです。これらの情報を基に、問題となる行為の発生するパターンに対処するための方針を確立します。

地区は、すべての虐待やハラスメントの申し立てへの対応として義務付けられていることや手続について地元の法律専門家に相談するよう求められています。

過去の事件

青少年プログラムの元参加者が過去の虐待やハラスメントについて申し立てをするため地区に連絡してきた場合は、最善の対応方法に関する情報や提案についてRIまでご連絡ください。このような申し立ては、地区が事件について知らされた時点から72時間以内にRIへ報告しなければなりません。

各役員の責務



青少年交換プログラムでは、クラブおよび地区青少年交換役員もまた青少年の保護に責任を負っています。この責務についての概要は、配布資料12をご参照ください。

青少年の保護は、青少年プログラムに関与するすべての大人の責務であるものの、国際ロータリーおよび地区の虐待とハラスメント防止に関する方針が守られるかどうかは、地区ガバナー、地区青少年保護役員、地区調査委員会の注意次第となります。

地区ガバナー

地区ガバナーは、虐待とハラスメント防止に関する認識を高め、地区の青少年プログラムにおける効果的な対策と地区内の報告の方針をつくります。

責務

- すべての申し立てが適切な当局とRIに報告されるようにする。
- 虐待の報告が地区の方針や手続に従って行われるよう確認する。
- ロータリー・クラブは地区の方針を遵守するよう確認する。
- 責務の一部を他の地区役員に委任してでも、すべての青少年プログラム活動が責任を持って実施されるようにする。
- 必要に応じて、青少年交換活動の管理に介入する。
- 虐待防止の方針や手続を含め、危機管理の手続を確立する。

青少年の保護について、地区ガバナーは、地区指導者チームからできる限り多くのメンバーに参加してもらう必要があります。これには、虐待やハラスメントの認識、防止、および報告に関する地区方針に精通し、青少年の保護で適切な役割を果たすことができるガバナー補佐を含めます。地区研修役は、青少年保護の研修セッションの際に支援を提供することができます。

地区青少年保護役員

地区青少年保護役員は青少年プログラムの危機管理の問題に対する認識を高め、地区、クラブ、すべてのプログラム・ボランティアが、RIおよび地区の虐待とハラスメントに関する方針を守るよう努めます。同役員は、ロータリアンが虐待やハラスメントの申し立てを受けた際に、地区内で最初に連絡を受ける人物となります。また役員は、虐待やハラスメントおよびその他の危機管理問題に関する手続や指針について、地区やクラブの他の役員を研修することもできます。この役職は設置が義務付けられたものではありませんが、強く奨励されています。

責務

- すべての申し立てに関する記録を管理する。
- 申し立てを地元の法律や地区の方針に従って適切に取り扱い、すべての関係者の利益を守るようにする。
- クラブと協力し、地区の方針や地元の法律の下ですべてのロータリアンが担う義務について知らせる。
- 申込用紙、犯罪歴調査、経歴紹介の結果を含む、審査を受けたすべてのボランティアの資料を審査し、管理する。また場合によって、先述の目的のために雇われた外部機関との連絡役を担当する。
- 警察や地元の関連当局によって要請されたすべての書類を収集してこれを提出し、監督なしで青少年と接するプログラム・ボランティアの身元調査を実施する。
- ロータリアン、ホストファミリー、RYLAカウンセラー（顧問）などのプログラム・ボランティア、青少年参加者とその両親に適切な研修が提供されるようにする。
- 教育および研修プログラムの立案について、地区青少年プログラム委員会に助言を与える。

資格条件

- 虐待やハラスメントの問題を専門に取り扱った経験
- 青少年のカウンセリングを行った経験
- RI方針と関連する地元や国の法律についての知識

その他の資質

- 少なくとも3年間任務を務めることに対する意欲
- ソーシャルワーカー、セラピスト、教育機関の管理運営、青少年保護の専門家など、特に十代の子供たちと活動したり、保健、精神衛生、教育といった分野で働いていた経験

地区調査委員会

地区調査委員会は、警察機関が調査できなかつたり、調査をしても結論が導き出されなかった虐待やハラスメントの申し立てに対応します。同委員会は設置が義務付けられたものではありませんが、強く奨励されています。

責務

- 地区の危機管理方針が十分なものかどうか判断する。
- 年に一度、青少年プログラムにおける虐待やハラスメントの記録や申し立てをすべて見直し、地区が、虐待やハラスメントのリスクを最小限に抑える対策をとっているか確認する。

- 委員会は、虐待やハラスメントの申し立てがされてから3～5日以内（土日・祭日を除く）に会合を開く必要がある。
- 警察機関による調査の後、査定を行い、申し立て事項を取り巻く状況を検討したり、地区ガバナーおよび地区青少年保護役員に対応に関する提案を行う。
- 警察機関による調査から結果が導き出されなかった場合、嫌疑がかかっている人物が引き続き青少年プログラムに参加することに大きなリスクがあるかどうかを判断する。
- 警察機関が申し立てに対する調査を行わない場合に対応を行う。

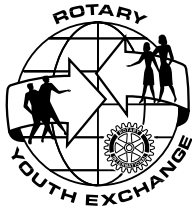
委員会委員

地区ガバナーは、1クラブにつき1人に限定して、同委員会の委員を任命します。委員には最低限、以下の人々を含めます。

- 地区青少年交換委員会委員長
- ソーシャルワーカー、心理科医、精神科医など、虐待の問題に関する職務経験を持つロータリアン以外の人物
- 危機管理の経験を持つボランティア
- 地区青少年保護役員（在任の場合）

その他の資質

- 実行可能な場合、少なくとも1名の元ガバナーが委員を務める。
- 委員会委員は少なくとも3年の任期を務める。
- 利害の衝突を避けるため、同じロータリー・クラブ所属の会員、友人、同僚、配偶者、親戚に対して提出された申し立ての調査においては、任務から外れる必要がある。
- 地区が同委員会を任命しないと決定した場合、地区ガバナーは臨時調査委員会を任命し、地区調査委員会と同様の組織指針に従って、虐待やハラスメントの申し立てに対応することになる。



虐待とハラスメント防止に関する 地区の方針の見本

虐待とハラスメント防止に関する効果的な方針をつくり、これを導入することは、ロータリー青少年交換プログラムに参加する学生を守るうとする地区の姿勢を明確に表すこととなります。本資料は、RI理事会の方針に準拠して地区の方針をつくるための基本的な枠組みを提供しています。地区は、地区特定の状況に合わせて虐待やハラスメントの地区方針を立案したり、改正する際に、適宜この資料を利用することができます。特別な記載がない限り、地区は認定を受けるため、以下の各項目を地区方針に盛り込まなければなりません。

第_____地区 青少年交換 虐待とハラスメント防止に関する方針

1. 青少年と接する際の行動規範に関する声明

第_____地区は、ロータリーの活動に参加するすべての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしている。全ロータリアン、その配偶者、またいかなるボランティアの人々も、接触する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待を防止して、彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある。

2. 定義（任意）

ボランティアとは、監督者の有無に関わらず、青少年交換の活動で学生と直接の接触を持つすべての成人を指す。具体的には、学生を活動や遠出に招いて世話をしたり、学生を行事や催事まで車で送迎する可能性のあるクラブや地区の青少年交換役員、委員会委員、カウンセラー、ロータリアンまたはロータリアンではない人々、その配偶者やパートナー、ホストファミリーや受入家庭に同居するその他の成人（兄弟やその他の家族など）が含まれる。

学生とは、成年に達しているか否かを問わず、ロータリー青少年交換に関わる個人を指す。

性的虐待とは、青少年に対して間接または直接的に性的な行動を及ぼすこと、あるいは青少年が単独または同性・異性および年齢を問わず、他の人との間接または直接的な性的行動に及ぶことを強制あるいは奨励することである。これは、公然わいせつや青少年に性的資料またはポルノ類を見せるなど、接触を伴わない攻撃も含まれる。

性的ハラスメントとは、性的な誘いかけ、性的行為の要求、あるいは性的な性質を持つ口頭または身体的言動を指す。時に、性的ハラスメントは性的虐待へと発展し、性犯罪者が被害者の感覚を鈍らせたり、手なずけるために用いられる場合がある。

性的ハラスメントには次のような例が含まれる。

- 性的な言葉、冗談、性的言動に関連する書面あるいは口頭による言及、青少年がいる前での個人の性生活に関する話、個人の性的活動、欠陥、能力に関する言及
- 性的な性質を持つ言葉による虐待

- 性的な示唆を含む物、写真、絵などの提示
- 性的な示唆を含む目線や口笛、衣服に付いたゴミを払い落としたり、触るなどの不適切な身体的行動、卑猥な言語または身振り・手振り、および性的示唆や侮辱を含む言葉

3. 地区青少年交換プログラムの法人化と損害賠償保険

地区青少年交換プログラムは法人組織として設立、あるいは同等の合法的な組織として設立される必要がある。虐待やハラスメント防止に関する方針には次の情報を含めるよう検討することとする。例えば、

ロータリー第_____地区の青少年交換プログラムは社団法人、ロータリー第_____地区青少年交換プログラムとして組織され、_____（市町村／都道府県／国名を挿入）の法律によって法人化されたものである。

さらに、地区のプログラムは地理的な所在地において適切とされる補償額と限度額を備える十分な損害賠償保険に加入することが義務付けられている。

4. ボランティアの選考と審査

第_____地区は未成年と共に活動する成人の犯罪歴調査、免責事項審査内容についてすべての記録を永久に保存する。

第_____地区青少年交換プログラムへの参加に関心があるすべてのボランティアは以下の要件を満たさなければならない。

- 青少年ボランティア誓約書にすべて記入し、地区が犯罪歴調査（地元の条例や慣習に基づいて）を行うことに同意する。
- 個人面接に応じる。
- 地区が照会できる身元保証人のリストを提出する。
- 学生と共に活動するためのRIおよび地区の資格要件を満たす。性的虐待あるいはハラスメントを自ら認め、あるいは有罪を宣告され、あるいはそれに関与したと認められたいかなるボランティアも、ロータリーが関係する青少年活動に携わることをRI方針は禁じている。個人が性的虐待あるいはハラスメントの申し立てを受け、結論が導き出されなかった場合には、該当する個人が将来関わる青少年の安全および被告発者の保護のため、さらなる保護措置が講じられなければならない。後に嫌疑が晴れた当人は、青少年プログラムへの参加への復帰を申請することができる。復帰は権利ではなく、元の活動に復帰できるという保証はない。
- 青少年交換プログラムに関するRIと地区の指針を遵守し、理解する。

ホストファミリーは上記の指針に加え、以下の選考および審査基準を満たさなければならない。

- ホストファミリーは、交換学生を受け入れる適性を審査する総合的な面接に応じる。ホストファミリーは以下を実証しなければならない。
 - 学生の身の安全と安全確保に力を入れること。
 - 学生を受け入れる動機が、ロータリーの理想である国際親善および異文化交流と一致していること。
 - 学生に十分な宿泊設備（部屋と食事）を提供できる財力があること。
 - 学生の福利を保証するため、適切な監督と親代わりとしての責務を果たす能力があること。
- ホストファミリーは申請書を記入しなければならない。

- 事前通知をした場合と抜き打ちの場合、また受入れ前と受入れ中に各ホストファミリーの家庭訪問を実施しなければならない。家庭訪問は、繰り返し受け入れを行う家庭を含め、毎年実施しなければならない。
- ホストファミリーの家に同居するすべての成人は選考と審査基準を満たさなければならない。これはホストファミリーの成人の子供、常時または一時的に家庭に居住する他の親族も含む。

カウンセラー（顧問）はボランティアのすべての基準を満たす他、以下の項目を満たす必要がある。

- カウンセラーは学生のホストファミリーの一員であってはならない。
- カウンセラーは、肉体的、性的、精神的虐待やハラスメントの場合を含め、交換中に起こりうるいかなる問題や懸念事項にも対処できるよう訓練を受けていなければならない。

その他の推奨事項： 必須要件ではないが、地区は、特定の学生に關与するボランティアの親しい友人や親戚をカウンセラーとして選出するのを避けるべきである（クラブ会員かつホストファミリーである学校の校長など）。

5. 学生の選考と審査

第_____地区青少年交換プログラムへの参加に興味のあるすべての学生は以下の要件を満たさなければならない。

- 申請書に記入し、プログラムへの参加適性を審査する面接に応じる。
- 地区のすべてのオリエンテーションや研修セッションに出席し、参加する。

第_____地区の青少年交換プログラムへの参加に関心のある学生の両親または保護者はすべて、学生のプログラムへの参加適性を測るため、面接に応じなければならない。

6. 研修

第_____地区はすべての青少年交換プログラム参加者に虐待とハラスメントを予防するための研修を提供する。_____が研修セッションを実施する。

具体的に、第_____地区は以下を行う。

- 地区特定の指針、地元の慣習や文化に関する情報および法的な要件を組み入れ、「虐待とハラスメント防止に関する研修の手引き」を採択する。
- 参加者を特定した上での研修日程、それぞれのボランティア任務に必要とされる研修の頻度、および使用される研修手法を決める。
- 以下の青少年交換プログラム参加者に対する特別の研修セッションを実施する。
 - 地区ガバナー
 - 地区青少年交換委員会委員
 - クラブ青少年交換委員会委員
 - カウンセラー
 - 地元のツアーや地区行事など、青少年交換活動に従事するロータリアンやロータリアン以外の人々
 - ホストファミリー

- 学生（派遣学生と受入学生）
- 学生の親や法的保護者
- すべての参加者が必須研修を受けるための指針を確立する。
- 指針を確実に遵守するため、記録をつける。

その他の推奨事項：必須事項ではないが、地区は以下の提案を検討すべきである。

- 任命されている場合、地区青少年保護役員に研修の任務を引き受けてもらう。
- 組み合わせ地区は、互いに研修内容を分かち合うべきである。

7. 申し立ての報告に関する指針

第_____地区は、青少年交換学生の安全と健全な生活を守るよう努め、いかなる虐待やハラスメントも容認してはならない。虐待やハラスメントに関するすべての申し立ては慎重に取り扱われ、「性的虐待およびハラスメントの申し立て報告に関する指針」に基づいて対処されなければならない。

8. 対応および審査の指針

第_____地区は虐待やハラスメントに関する申し立てを慎重に扱い、各申し立てに対して徹底的な調査を行うことを確認する。地区は、警察機関、児童保護局、法的調査機関すべてに協力するものとし、独自に審査を行う際はその他の調査を妨げることのないようにする。

9. 第_____地区のその他の責務

- 警察機関が調査を行わない犯罪に当たらない行為や過去の事件についての報告、調査、取り扱いの手続を確立する。
- 青少年交換受入学生すべてが、次の範囲の保険に加入するよう推奨する：
_____。
- 地区内で提供されている支援サービスの一覧（レイプ被害者ホットライン、自殺防止ホットライン、未成年へのアルコールと麻薬に関する意識向上プログラム、関連の法執行機関、地域社会の支援サービス、民間の支援サービス等）を学生に提供する。
- 青少年交換に参加するすべての学生について学生情報依頼用紙を記入し、交換を始める1カ月前までにRIへ提出する。
- 青少年交換学生に、緊急時24時間対応の電話番号を提供する。
- 青少年交換のウェブサイトに関するRI指針に従う。
- 性的虐待やハラスメントについては、被害者とされる人のために独自に弁護士、療法士またはカウンセラーを任命する。
- 犯罪に関する申し立てはすべて72時間以内にRIへ報告を行う。
- 青少年交換学生が関与するすべての深刻な事態（事故、犯罪、早期帰国、死亡）についても72時間以内にRIへ報告を行う。
- この方針とそれに準ずる手続を定期的に評価し、見直す。

その他の推奨事項：必須事項ではないが、地区は以下を実施するよう検討すべきである。

- 記録ファイル、方針、申し立てを毎年、評価し見直すための地区審査委員会を任命する。
- 地区青少年保護役員を任命する。

- 現在の受入状況、精神面、懸念事項、意見、提案などの情報について、地区の派遣学生と受入学生から毎月報告書を提出してもらおう。青少年交換地区委員長が学生からの報告書を読み、必要に応じて学生を支援する。
- 常時の地区「ホットライン」として携帯電話の指定を検討する。地区のロータリアンを連絡担当者として指定して待機させ、交換期間中は24時間電話を持ち歩くようにする。

10. クラブの遵守事項

第_____地区は、地区内の参加クラブすべてが、虐待とハラスメント防止に関するRI指針を遵守するよう監督し、確認する。地区から認定を受けることを希望するすべてのクラブは、審査と認定のため、以下の書類を地区に提出しなければならない。

- 青少年交換プログラムを推進および支援するためにクラブが作成した推進資料やパンフレット、申請書式、方針、ウェブサイトのリンクなどのすべての資料
- 地元での支援サービス一覧（レイプ被害者ホットライン、自殺防止ホットライン、未成年へのアルコールと麻薬に関する意識向上プログラム、関連の法執行機関、地域社会の支援サービス、民間の支援サービス等）
- 虐待やハラスメント防止に関するクラブの研修プログラム資料

参加クラブは以下を実行することに同意しなければならない。

- クラブが第_____地区とRIの方針を遵守して青少年交換プログラムを運営する旨を明記した、署名入りの表明文を作成し、提出する。
- 監督のない場面で直接青少年と接触を持つことになる、ホストファミリーに同居している人、カウンセラー、クラブ委員長、すべてのロータリアンとその配偶者やパートナーなど（ただしこれらの人々に限らない）、プログラムに関与するすべてのボランティアについて、地区が調査を実施しない場合、代わりに犯罪歴調査と経歴照会を行う。すべてのボランティアは、「青少年ボランティア誓約書」に記入し、署名しなければならない。
- 事前通知をした場合と抜き打ちの場合、また受け入れ前と受け入れ中に行う家庭訪問と面接を含め、ホストファミリーの総合的な選考と審査の手続を確立する。
- 学生とホストファミリー両者から事後評価をもらう。
- 「性的虐待とハラスメントに関する申し立て報告に関する指針」に従う。
- 第_____地区青少年交換プログラムの管理外で学生を直接派遣することを禁止する（裏口交換と呼ばれるもの）。
- 学生を移動させる際の基準を確立し、一時的に滞在する予備の宿泊施設をあらかじめ設けておくなど、学生をホストファミリーから引き離す際の手順を設ける。
- あらかじめ審査を受けた、緊急用の家庭を含め、臨時受入れ態勢を整えておく。
- すべての学生の受入れは任意であることを確認する。派遣学生の両親やクラブの会員に、学生のホストファミリーとなることを義務付けてはならない。
- 長期の交換学生は複数のホストファミリーを持つよう確認する。
- 歯科医、医者、礼拝所、カウンセラー、自殺防止や性犯罪緊急用ホットライン等の情報を含む、地元の総合的なサービス一覧を学生に提供する。
- 学生を担当する受入側カウンセラーは学生のホストファミリーのメンバーではないことを確認する。
- 受入側カウンセラーは肉体的、性的、精神的虐待やハラスメントの場合を含め、交換中に起こりうるいかなる問題や懸念事項にも対処できるよう訓練を受けていなければならない。

- ホストファミリー、派遣学生、受入学生、およびその両親や法的保護者には、性的虐待とハラスメント防止に関する研修を提供し、研修への参加を義務付ける。
- 男性と女性の両方を含め、両者は互いに無関係の個人で、またホストファミリーやクラブ・カウンセラーと親しい関係にはなく、学生のいかなる懸念や問題につ
- 青少年交換のウェブサイトについてRI指針に従う。
- 青少年交換学生が関与するすべての深刻な事態（事故、犯罪、早期帰国、死亡）について直ちに地区へ報告する。
- すべての申請者、申請者の両親または法的保護者と面接を行う。

その他の推奨事項：必須事項ではないが、地区は以下を実施するよう検討すべきである。

- クラブ青少年保護役員を任命する。
- 長期交換では、3軒のホストファミリーに滞在させる。
- クラブは審査および承認を受けるにあたり、すべての情報の提出を義務付けられるよう、クラブ再認定の仕組みを確立する。
- 経歴照会が終了し、監督なしで学生と接することが許可されるまで、ボランティアが学生に接触することを禁止する。

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしている。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアの人々は、ロータリーを通じて関わる児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待を防止して、彼らの身の安全を守るために最善を尽くす責任がある。

2002年11月、RI理事会により承認

Youth Exchange Section – PD110
 Rotary International
 One Rotary Center
 1560 Sherman Avenue
 Evanston, IL 60201-3698
 USA
 youthexchange@rotary.org

(2006年6月)

性的虐待およびハラスメントの 申し立て報告に関する指針

国際ロータリーは、青少年プログラムの参加者すべての安全と健全な生活を守るよう努め、いかなる虐待やハラスメントも容認しない。虐待またはハラスメントのあらゆる申し立ては、深刻に受け止められ、以下の指針に沿って対処されなければならない。青少年の安全と健康が、常に私たちの第一の優先事項となるべきである。

定義

性的虐待とは、青少年に対して間接または直接的に性的な行動を及ぼすこと、あるいは青少年が単独で、または同性・異性および年齢を問わず、他の人との間接または直接的な性的行動に及ぶことを強制あるいは促すことである。これは、公然わいせつや青少年に性的資料またはポルノ類を見せるなど、接触を伴わない攻撃も含まれる。

性的ハラスメントとは、性的な誘いかけ、性的行為の要求、あるいは性的な性質を持つ口頭または身体的言動を指す。時に、性的ハラスメントは性的虐待へと発展し、性犯罪者が被害者の感覚を鈍らせたり、手なずけるために用いられる場合がある。

性的ハラスメントには次のような例が含まれる。

- 性的な言葉、冗談、性的言動に関連する書面あるいは口頭による言及、若い人々がいる前での個人の性生活に関する話、個人の性的活動、欠陥、能力に関する言及
- 性的な性質を持つ言葉による虐待
- 性的な示唆を含む物、写真、絵などの提示
- 性的な示唆を含む目線や口笛、衣服に付いたゴミを払い落としたり、触るなどの不適切な身体的行動、卑猥な言語または身振り・手振り、および性的示唆や侮辱を含む言葉

虐待やハラスメントであるかどうかの判断は誰が行うべきか。

申し立てを受けた際、疑惑のある行為が性的虐待や性的ハラスメントにあたるかどうかを大人たちで判断すべきではない。むしろ、まず学生の身の安全を確保した上、すべての申し立てを直ちに適切な児童保護局や警察へ報告すべきである。国によっては、このような報告が法律によって義務づけられている。

申し立ての報告に関する指針

ロータリー青少年プログラム参加者から性的虐待やハラスメントの申し立て報告を受けた成人は、報告に関する以下の指針に従わなければならない。

1. 報告を受ける。
 - a. 注意深く耳を傾け、冷静に対応する。虐待やハラスメントを報告することは大変勇気ある行為であることを認める。青少年を励まし、ショックや恐れ、不信感を表さない。
 - b. プライバシーを守ることを約束するが、極秘ではない旨を伝える。事態に歯止めをかけ、他の人々にも同様の事が起こらないようにするため、虐待やハラスメントについて誰かに伝える必要があることを説明する。
 - c. 事実を収集するが、尋問のように問いただすことはしない。いつ、誰が、どこで、何を、どのように行ったか、という事実を明確にするための質問をす

る。あなたに事実を伝えるのは正しいことであるとその青少年に伝える。青少年の動機を問題視し、報告を妨げるような「なぜ」といった質問を避ける。あなたの責務は、報告された話を適切な当局へ伝えることであることを銘記する。

- d. **中立的な立場を保ち、かつ安心感を与える。**起こったいかなる事柄や関係したいかなる人物についても、批判を避ける。青少年を責めたり、批判しないことは、特に重要である。事態の責任はその青少年にはないこと、そして、あなたにこの件を伝えたのは勇気があり、成熟した行動であることを強調し、安心させる。
- e. **申し立てを記録する。**報告を受けた後、できる限り早く、日付と時間を含めて会話の内容を文書化する。青少年自身の言葉を用い、報告されたことのみを記録するよう心がける。

2. 青少年を保護する。

直ちにその状況から青少年を退避させ、疑いのある虐待者やハラスメントを行った人物とのあらゆる接触を防ぐことで、青少年プログラム参加者の身の安全と健康を確保する。またその措置は、青少年の安全を確保するために行われたことであり、処罰ではないことを伝えて安心させる。

3. 申し立てを適切な機関（児童保護局または警察）に報告する。

性的虐待やハラスメントのすべての事態を直ちに報告する。まずは調査のために地元の警察へ通知し、次に事態解決のための措置へ向けてクラブや地区の指導者に連絡する。第_____地区を管轄する警察は_____である。多くの場合、ロータリーでまず最初に連絡を受けるロータリアンは_____で、適切な機関に助言を求めたり、連絡を取り合う任務を担う。申し立てがこのロータリーに関係する場合、地区青少年プログラム委員長または地区ガバナーがロータリーで最初の連絡先となるべきである。

第_____地区は警察または法的調査機関に協力する。

第_____地区は性的虐待と性的ハラスメントについて自治体、市町村、都道府県および国の法律を調べ、プログラムに参加する成人のボランティアが認識すべき法的義務事項（地区は必要事項をここに挿入）を周知させる。

4. 噂話や非難を避ける。

指針により要請されている人以外には、報告について話さない。調査の間は、被害者と被告発者の両者の権利を守るべく細心の注意を払う。

第_____地区は、以下の手続を踏む（地区は適切な手続をここに挿入）ことによって、被疑者のプライバシー（ただし極秘とは異なる）を保護する。

5. 申し立てられた当人に対して挑発的な態度をとらない。

申し立ての被疑者に連絡をとらないこと。虐待の場合、調査はすべて法執行機関により行われなければならない。犯罪にあたらぬハラスメントの場合、地区ガバナーがその後の事態解決のための措置に責任を持ち、青少年が安全な環境へ移された後に被疑者に連絡することとする。地区ガバナーはこの任務を地区青少年保護役員または地区審査委員会へ委任することもできる。

クラブ会員やホストファミリーが学生の心境を把握するのは難しいこともあるが、クラブが安心感や信頼を与え続けてくれると知るだけで、学生は心強く感じるものである。クラブ会員やホストファミリーは、自分たちの役割があいまいで、すべきこととそうでないことの境界線が不明確に感じるかもしれないが、常に、自分たちは学生を支援しているのだということを学生に伝え、安心させるために必要とあれば何でもすべきである。

クラブ内で問題に取り組む。

虐待やハラスメントの申し立てに対処する際、最も重要な懸念事項は、青少年の身の安全である。クラブ会員は、憶測したり、警察あるいは犯罪捜査の妨げとなり得るような個人的見解を表明すべきではない。ロータリアンは調査に介入してはならない。申し立てられた被疑者を支持するコメントを行うことは、「青少年と接する際の行動規範に関する声明」およびロータリーの理念に反するものである。申し立てられた虐待行為者に対する所見は、申し立てられた虐待行為者による、ロータリアンまたはクラブに対する中傷または名誉棄損の訴えにつながる恐れがある。

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしている。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアの人々は、ロータリーを通じて関わる児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待を防止して、彼らの身の安全を守るために最善を尽くす責任がある。

2002年11月、RI理事会により承認

Youth Exchange Section - PD100

Rotary International

One Rotary Center

1560 Sherman Avenue

Evanston, IL 60201-3698

USA

youthexchange@rotary.org

(2006年6月)

青少年ボランティア誓約書

留意事項：地域の法律を遵守するため、地元の弁護士がこの書式の内容を確認する必要があります。

第_____地区は、ロータリーの活動に参加するすべての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしています。ロータリー・プログラムや活動に参加する児童や青少年の安全を守り、若い参加者の肉体的、性的、精神的な虐待を防止するよう最善を尽くすことは、すべてのロータリアン、配偶者、およびその他のボランティアの責務です。

以下の情報は、身元調査実施のため地区が契約した外部機関に提供されることがあります。

ボランティア本人の情報

氏名: _____

住所: _____

現住所での居住年数 _____ (5年間未満の場合は、この書式の裏面に以前の住所を記入してください。)

政府発行の身分証明 (健康保険証や免許証の番号) _____

生年月日 (年/月/日): _____

同意事項

この誓約書および添付書類に記載された情報はすべて、私の知る限り真実かつ正確であり、この誓約書が不利益な影響を与えるような情報を差し控えていないことを保証します。私は、第_____地区青少年プログラムが、暴力犯罪に関わったいかなる個人もボランティアの任務から排除することを理解します。

私はここに、第_____地区がこの誓約書で提供された情報を確認すること、具体的には警察機関による調査、公開記録 (運転履歴、犯罪履歴の照会を含む)、過去の雇用主との連絡を許可します。私は、この情報が、ボランティアとしての適性を判断する目的でも使用されることを理解します。私はまた、私がボランティアを務める期間中はいかなる時も再度情報の確認を受ける場合があることを理解します。私は、受け取った記録に異議がある場合、犯罪歴の記録を閲覧する機会が与えられており、訂正の手続きができることを理解しています。

権利放棄 (免責事項)

青少年プログラムへの採用および参加に鑑みて、私は、法の許す限りで、この誓約書に関連した私の過去の調査の結果、被免責者による過失から起こる可能性も含め、いかなる損失、物的損害、個人の死傷に対する責任についても、私が損害を被った場合または申し立てをした場合、関与しているロータリー・クラブ、地区、国際ロータリーのすべての会員、役員、理事、委員会委員、職員 (被免責者) を免責し、保護しかつ損害を与えないことに同意します。

私はまた、国際ロータリー、第_____地区青少年プログラム、およびその関連団体の定める規則、規定、方針に従うことに同意します。

私は、上記の誓約、同意、免責についての条項を読み、理解し、この書式に任意で署名することを認めます。

申込者署名: _____

氏名 (ふりがな) : _____ 日付: _____

その他の情報

自宅電話番号: _____ Eメール: _____

勤務先電話番号: _____ ファックス: _____

ロータリー・クラブの会員ですか。 はい いいえ

「はい」と答えた場合は、クラブ名と入会年を記入してください: _____

希望する任務: _____

過去にロータリー青少年プログラムに関与したことがありますか。 はい いいえ

「はい」と答えた場合、過去の役職と時期を記入してください。 _____

職務履歴 (過去5年間について。必要な場合は別紙を添付してください。)

現在の勤務先: _____

住所: _____

電話: _____ 役職: _____

雇用年月日: _____ 上司の氏名: _____

過去の勤務先 _____

住所: _____

電話: _____ 役職: _____

勤務年数: _____ 上司の氏名: _____

青少年に関わるボランティア経験 (過去5年間について。必要な場合は別紙を添付してください。)

団体名: _____

住所: _____

電話: _____ 役職: _____

参加期間: _____ 担当責任者名: _____

それ以前の団体名: _____

住所: _____

電話: _____ 役職: _____

参加期間: _____ 担当責任者名: _____

身元保証人（親族以外、ロータリアンまたは元ロータリアンは1名までに限る）

1. 氏名: _____

住所: _____

電話: _____ 本人との関係: _____

2. 氏名: _____

住所: _____

電話: _____ 本人との関係: _____

3. 氏名: _____

住所: _____

電話: _____ 本人との関係: _____

資格および教育

この任務に関連して、どのような資質や研修を受けた経験がありますか。すべて説明してください。

犯罪歴

1. これまでに何らかの犯罪で罪状を認めた、または有罪が確定したことはありますか。 はい いいえ

2. 一切の性的、肉体的、あるいは言葉による虐待について、家庭内暴力・迷惑行為差止命令、保護命令など（ただしこれに限らない）、裁判所の命令（民事、家庭、刑事裁判所を含む）を受けたことがありますか。 はい いいえ

「はい」と答えた場合は、その内容を説明してください。それぞれについて、命令を受けた年月日と場所（都道府県と市町村）を明記してください（必要に応じて、別紙を添付してください）。

地区使用欄：

_____ 身元保証人の照会担当者 _____
日付 _____ 氏名 _____

_____ 身元保証人の照会担当者 _____
日付 _____ 氏名 _____

_____ 身元保証人の照会担当者 _____
日付 _____ 氏名 _____

その他の支援源

世界保健機関、www.who.int

「暴力と保健に関する世界報告書」（www.who.int/violence_injury_prevention/violence/world_report/en/、英語）や国別にまとめた性的暴力の情報（www.svri.org/countries.htm）など、世界中で起こる性的虐待やその防止についての研究。

ユニセフ（国連児童基金）、www.unicef.org

青少年の権利に関する情報（www.unicef.org/voy/explore/rights/explore_148.html）や国連子供の権利条約（www.unicef.org/crc/crc.htm）など、青少年の権利の保護に関する除法。

International Society for Prevention of Child Abuse and Neglect

（国際児童虐待・放置防止協会）、www.ispcan.org

17カ国における提携組織の連絡先や検索可能な世界の出版物のリスト（www.ispcan.org/resources.htm）を含む、虐待防止に関する情報源。

Child-Safe（子供安全）、www.child-safe.org.uk/index.aspx

特に旅行の際の安全を取り扱った資料（www.child-safe.org.uk/products/books）を含む、児童虐待防止に関する情報。

Australian Institute of Family Studies（オーストラリア家族問題研究所）、

www.aifs.gov.au/nch

虐待防止についての資料へのリンク。www.aifs.gov.au/nch/nchlinkspro.html。

World Organization of the Scout Movement（世界スカウト機構）、www.scout.org

Boy Scouts of America（ボーイスカウトアメリカ連盟）、www.scouting.org

National Center for Missing and Exploited Children

（失踪・虐待児童の全米ネットワーク）、www.missingkids.com

Nonprofit Risk Management Center（非営利危機管理センターセンター）、

www.nonprofitrisk.org

American Medical Association（米国医療協会）、www.ama-assn.org

「性的暴力の治療と防止の方策」

（www.ama-assn.org/ama1/pub/upload/mm/386/sexualassault.pdf、英語）。

National Center for Post-Traumatic Stress Disorder

（心的外傷後ストレス障害全国センター）、www.ncptsd.org

WINGS Foundation（WINGS財団）、www.wingsfound.org

「児童性的虐待に関する現状」（www.wingsfound.org/statsChildhood.html、英語）。

Bollinger Inc.（ボリンジャー社）、米国ニュージャージー州ショートヒルズ

虐待とハラスメント防止に関する

研修リーダー用手引き



ROTARY INTERNATIONAL®

このリーダー用引きは、青少年プログラムのボランティア、参加者、および保護者を対象に、虐待とハラスメント防止の研修やオリエンテーションで使用するセッションの手引き、スライド、配布資料、事例研究を収録しています。研修セッションは、虐待の認識、防止、報告に焦点を当てています。中にはロータリー青少年交換プログラム向けの資料も含まれていますが、これらを他のプログラムに適用することもできます。

本手引きに含まれる資料は虐待とハラスメントの防止のみを扱っていますが、研修やオリエンテーションではそれぞれのクラブ、地区、多地区合同が青少年プログラムのその他の側面も扱うことが想定されています。これらのセッションを地元の法律や慣習に合わせ、既存のオリエンテーション・プログラムや地区協議会の一部に組み入れることができます。また、地区の方針や文化的規範にそぐうよう資料を調整することもできます。連絡先、地区独自の方針、その他の特別な情報を掲載した配布資料を作成するのも一案です。

今後のリーダー用引きを編集する際の参考として、地区の資料をRIへご送付ください。また、より良い資料作成のため、ご意見やご提案もお待ちしております。あて先は以下の通りです。

Youth Programs Department — PD100
Rotary International
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698
USA
ファックス：+1 847-866-6116
programs@rotary.org

目次

計画を立てる

研修リーダーの人選と準備	1
セッションの手引きの使い方	1
セッションの議題と参加者	3

セッション

セッション1： 認識と防止	7
セッション2A: 問題の認識と報告	17
セッション2B: 問題の認識と報告：ロータリー青少年交換	25
セッション3： 青少年交換学生のための支援システムをつくる	37
セッション4： 安全な交換体験に備えて：親	47
セッション5： 安全な交換体験に備えて：学生	55

本手引きは、成人ボランティア、青少年、保護者を含む国際ロータリー青少年プログラムの参加者向けに研修セッションを実施するための情報を提供しています。これらのセッションは、RI理事会が定めた地区青少年交換認定のための必須事項を遵守するために行われます。手引きは印刷版とCD-ROM版で発行されています。CD-ROM版には電子ファイルの参考用スライドが含まれており、地区に合うよう変更を加えられるほか、オーバーヘッド・プロジェクターのスライドやカラーの配布資料として使用することもできます。

9カ国語で発行され、ロータリー世界のすべての地区に送付されるこの手引きは、文字通り読み上げるための台本としてではなく、効果的なオリエンテーション・プログラムを行うための枠組みとしてご活用ください。

研修一般、または研修会合の計画や実施における諸準備については、地区の研修リーダーにご相談いただくか、「地区研修リーダーの手引き」(246-JA)をご参照ください。

研修リーダーの人選と準備

討論を進行するために選ばれた研修リーダーは、それぞれ異なる程度の研修経験を持っているものです。研修リーダーにセッション進行の準備をさせることで、与える研修や情報に統一性と一貫性がもたらされます。青少年保護の経験を積んだロータリアンに加え、地元の心理学者、教師、警察関係者、その他の青少年保護の専門家に進行役を依頼することも検討してください。セッション実施に当たり、研修リーダーには以下の資料を提供してください。

- 「このリーダー用手引きの使い方」(1～3ページ)
- 各自が指導を担当するセッションの手引き
- 進行を担当するセッションのスライドおよび配布資料
- 進行を担当するセッションに関して、地区特有の方針や任意で作成した配布資料(作成している場合)

セッションの手引きの使い方

セッションの手引きは、研修リーダーがそれぞれの議題について有意義な討論を円滑に進めるのに役立つよう意図されています。国際ロータリーの研修リーダー用手引きは、以下の主な項目を用いています。

進行役付きの討論会

セッションの手引きは、研修リーダーが討論の進行において参加者を導く研修の枠組みを提供するものです。こうした討論では、参加者が知識と経験を引き出すような質問に答えます。研修リーダーは柔軟に対応し、討論用の質問を巧みに投げかけながら会話の方向を導き、ペースを定め、グループ討論が円滑に進むようにします。討論の進行に関する詳細は、「地区研修リーダーの手引き」(246-JA)をご参照ください。

討論用の質問

討論のための質問は、重要なコンセプトに関する討論を導き出すために、研修リーダーが参加者に対して問いかける質問の見本です。

回答例

討論のための質問に対する参加者の回答例です。参加者が質問に対して回答に困っている場合、研修リーダーは回答例を活用して討論を促すことができます。ただし、回答例のすべてを参加者に提示しなければならないわけではありません。

キー・ポイント

キー・ポイントは、研修リーダーが、重要な概念を強調するのに役立つ要点をまとめたものです。これらの点をグループに伝えなければなりません。研修リーダーは、自分の言葉でこれらのアイデアを明確に説明するようにしてください。

研修リーダーの留意点

研修リーダーの留意点は、セッションを進行するのに役立つ情報や示唆および指導方向を提供しています。

スライド資料

スライド資料には、研修リーダーが、スライドを映してキーポイントを説明するための短い文章が書かれています。このリーダー用ハンドブックのためのスライドは、CD-ROMに収録されています。また、地域用に修正してお使いいただくために、www.rotary.org からダウンロードすることもできます。

配布資料

配布資料は、研修リーダーが、セッションのキー・ポイントに関連する事柄に言及する際の参考資料です。リーダー用ハンドブックの最後に収録されているこの配布資料は、セッションの始めに配る必要があります。

性的虐待やハラスメントに関する地域の法律や文化的規定は幅広く多種多様であるため、提供された資料を採用するほかに、地区独自の資料も作成すべきです。地区の作成した配布資料は、RIから提供された資料と合わせて使用するか、またはこの代わりとして使用することができます。

事例研究

ロータリー・クラブや地区が実際に直面した状況を元に作成された事例研究は、リーダー用ハンドブックの任意の配布資料として収録されており、特に青少年交換プログラムの成人ボランティア向けのセッションなど、多くの研修を支援するために活用することができます。

この事例研究はさまざまな方法で利用することができます。

- **グループ全体の活動として**：参加者は各自で事例研究を読み、全体で質問について話し合います。
- **少人数のグループで**：4～5人の参加者のグループに分かれ、グループごとに事例研究を読んで質問について話し合った後、参加者全体で意見を発表します。これはより長い時間がかかります。
- **役割演習**：二人組みまたは少人数のグループで、参加者が事例研究の登場人物を演じます（多くの場合、青少年参加者1名と成人ボランティア1名が必要で

す)。この他に、進行役が1つの役を演じ、参加者が全体のグループとして2つ目の役を演じることもできます。

- **個別の配布資料として：**討論セッション中に単独で使用したり、参考資料として自宅へ持ち帰るなど、個別の配布資料として事例研究を配布することができます。

地区は、地元での仮定または実際の状況を元に、固有名詞などを変えた上、独自の事例を作成することもできます。

地域の事情に合わせた内容に

セッションの手引きは基本的な指導の枠組みを提供するものですが、各研修リーダーが参加者に与えることのできる地域的なロータリーの知識や経験に取って代わることはできません。研修リーダーは、地区の参加者にとって意義あるプログラムを提供するために、各自のセッションで自身の知識や経験を生かし、独自の内容にするよう奨励されています。リーダー用手引きと（電子ファイルの）スライドにより、内容を修正し、応用することができます。

本手引きに含まれるセッションは、国際ロータリーの青少年プログラムにおける虐待やハラスメント防止について包括的に話し合うためのものです。時間が許せば、他の議題について討論することも可能です。創意性、工夫、地元の専門的知識を取り入れることにより、参加者の意欲と研修の質が高まります。虐待やハラスメント防止のこうしたセッションは、青少年交換学生や成人ボランティアのための総合的なオリエンテーション・プログラムの一部として実施することができ、独立して行われる必要はありません。

研修プログラムを実施する際、以下の点にご留意ください。

- 地区のニーズに基づき、文化的にふさわしい研修方法を用います。
- 元青少年プログラム参加者を研修リーダーとして招きます。元青少年交換学生やホストファミリーの経験者は優れた支援源です。
- ソーシャルワーカー、セラピスト、警察関係者、教育者など、青少年保護に関する職務経験を持つボランティアに参加してもらいます。

パネル討論、視聴覚資料による発表、グループ活動など、各種の形式を利用し、活気のあるプログラムにしてください。

セッションの議題と参加者

各セッションは、それぞれ特定の人々を対象に、虐待やハラスメント防止の特別な議題を扱うよう組み立てられています。セッション1、2、3は連続した内容で、セッション4と5は独立したものです。

これらのセッションの内容と時間はあくまでも推奨であり、必須ではありません。地区により、青少年プログラム参加者のために実施される研修やオリエンテーション・プログラムに、こうしたセッションの一部を取り入れることもできます。

セッション1：認識と防止

このセッションは、国際ロータリー青少年プログラムに参加するすべての成人ボランティア（ロータリアンおよびロータリアン以外の人々）を対象としています。セッションに出席するロータリアン以外の人々のため、ロータリーについての基本的な情報や国際ロータリー青少年プログラムについての情報を提供することも検討してください。

対象者：ロータリーにおいて青少年と活動することに関心を持つすべての成人ボランティアで、以下が含まれます。

- RYLAカウンセラー、プログラム進行役、スタッフ
- インターアクト・カウンセラー、クラブ連絡担当者
- すべての地区青少年プログラム委員会委員
- ホストファミリー内の成人
- カウンセラー
- クラブ青少年交換委員会委員および連絡担当者

必須研修：なし

セッション2A：問題の認識と報告

このセッションは、青少年交換プログラムの参加者以外で、青少年と密接な関わりをもつボランティアを対象とするものです。青少年との接触が限られている一般のグループ向けには、省略することも可能です。

対象者：ロータリーで青少年と密接な関わりを持ち、青少年交換プログラムの参加者以外のすべての成人ボランティアで、以下が含まれます。

- RYLAカウンセラー、プログラム進行役、スタッフ
- インターアクト・カウンセラー、委員会委員
- すべての地区青少年プログラム委員会委員

必須研修：セッション1

セッション2B：問題の認識と報告：ロータリー青少年交換

このセッションは、青少年交換プログラムを通じて青少年とより密接な関わりを持つボランティアを対象とするものです。青少年との接触が限られている一般のグループ向けには、省略することも可能です。

対象者：ロータリー青少年交換プログラムのすべての成人ボランティアで、以下が含まれます。

- 地区青少年交換委員会委員
- ホストファミリー内の成人
- カウンセラー
- クラブ青少年交換委員会委員および連絡担当者

必須研修：セッション1

セッション3：青少年交換学生のための支援システムをつくる

このセッションは青少年交換プログラムを特別に対象としています。

対象者：青少年交換プログラムのすべての成人参加者で、以下が含まれます。

- 地区青少年交換委員会委員
- ホストファミリー内の成人

- カウンセラー
- クラブ青少年交換委員会委員および連絡担当者

必須研修：セッション1および2

セッション4：安全な交換体験に備えて：親

青少年交換学生の両親向けのこのセッションは、プログラムの恩典や両親の責務を説明する地区や多地区合同の既存プログラムに沿って実施されるものです（地区がそのような研修またはオリエンテーションを行っていない場合、次の議題を含むプログラムの作成を検討してください。カルチャー・ショックと逆カルチャー・ショック、学生自身の成長、海外での学習体験、ロータリー青少年交換プログラムの構造、交換規定、保護者の役割、学生の役割、必須保険、財政的責務）。

保護者は、クラブ・レベルで少なくとも1名、地区レベルで3名のロータリアンを含む、緊急連絡先の氏名一覧を受け取る必要があります。

対象者：派遣青少年交換学生の親

必須研修：なし

セッション5：安全な交換体験に備えて：学生

派遣および受入れ青少年学生のためのこのセッションは、地区の青少年交換プログラムの規則、規定、文化的配慮を説明する地区または多地区合同の既存プログラムに沿って実施されるものです。セッションは虐待とハラスメント防止に焦点を当てており、地区の状況に合わせて内容を調整する必要があります。元青少年交換学生を情報源に、友達同士の虐待やいじめ、友達からの圧力、ホストファミリーの子供との衝突、ホストファミリー宅でのプライバシー、その他にも学生の安全に関する問題を質疑応答の形式で取り入れることを検討してください。

対象者：派遣および受入れ青少年交換学生

必須研修：なし

セッション1

認識と防止

(60分)

研修目的

本セッションを終了後、参加者は次のことができるようになります。

1. 国際ロータリー青少年プログラムに関わる青少年の安全対策の必要性を説明する。
2. 虐待とハラスメント防止に関するRIと地区の方針を理解する。
3. 青少年参加者の安全を守る目標を達成するため、防止の技法を見出し、実践する。

資料

スライド

1. 青少年と接する際の行動規範に関する声明
2. 防止のための手段

配布資料

1. 青少年と接する際の行動規範に関する声明
2. 虐待とハラスメントに関する事実
3. 虐待とハラスメントの定義

任意の配布資料

- 4A. 防止方法と参加者演習
- 4B. 防止方法と参加者演習：青少年交換
5. 事例研究：虐待やハラスメントであるかどうか
6. ホストファミリーの役割（ホストファミリーが参加するセッションのみ）

地区の配布資料

虐待防止に関する地区方針
地区の連絡先

対象者

ロータリーにおいて青少年と活動することに関心を持つすべての成人ボランティアで、以下が含まれます。

- RYLAカウンセラー、プログラム進行役、スタッフ
- インターアクト・カウンセラー、クラブ連絡担当者
- 地区青少年プログラム委員会委員
- ホストファミリー内の大人
- カウンセラー
- クラブ青少年交換委員会委員および連絡担当者

必須研修

なし

はじめに

(5分) _____ から _____ まで

🔑 キーポイント

- 毎年、250,000人以上の青少年が国際ロータリー青少年プログラムに参加しています。
- 青少年に奉仕するあらゆる団体は、認識と防止のための研修の実施を含め、青少年保護の方針を備える必要があります。

認識

(25分) _____ から _____ まで

なぜ皆さんは、国際ロータリー青少年プログラムでボランティアとして活動することに興味があるのですか。

🔑 キーポイント

- 指導力育成研修、異文化交流、教育プログラムなど、国際ロータリーの青少年プログラムは、青少年と活動を共にすることに関心のあるロータリアンやロータリアン以外の人々に、ボランティアとして活動する機会を提供しています。
- こうしたプログラムに参加する青少年を支援するため、十分な保護手段が設けられなければなりません。

🖥️ スライド1を映す 青少年と接する際の行動規範に関する声明

📄 配布資料1を参照 青少年と接する際の行動規範に関する声明

🔑 キーポイント

- ロータリー・クラブや地区の活動に関与する青少年の安全への取り組みを再確認するため、RI理事会は青少年への接し方に関する行動規範を作成しました。

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしている。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアの人々は、ロータリーを通じて関わる児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待を防止して、彼らの身の安全を守るために最善を尽くす責任がある。

スライド1

- RIは、虐待およびハラスメントに対して、いかなる違反も法規適用する方針（ゼロ容認方針）を有しています。

「青少年と接する際の行動規範に関する声明」を支えるために、皆さんは何を実行しますか。

研修リーダーの留意点

- 参加者が配布資料の質問への答えを書き込む時間を数分とります。

青少年に奉仕する団体にとって、虐待やハラスメント防止策を取る利点は何ですか。

回答例

- 虐待を深刻にとらえる団体としての評判を築くことで、虐待の加害者となりうる人物を寄せ付けないようにすることができる。
- 適切な対応により、虐待を防止したり、その影響を和らげたりすることができる。
- ロータリーが虐待やハラスメントの防止を重要視している団体であると知れば、将来の青少年参加者やその家族がプログラムにもっと関心を持つようになる。

📌 キーポイント

- 明確に系統立てられた危機管理方針と手続きによって、すべてのボランティアや参加者を守ることができます。

📄 配布資料2を参照

虐待とハラスメントに関する事実

研修リーダーの留意点

- 参加者が配布資料の演習に取り組むため、5分間設けます。
- 参加者に、それぞれの文章についてどう思うかを尋ね、その後、配布資料に掲載されているよくある誤解と実情について話し合います。

回答のヒント（配布資料2）

1. 「誤り」です。虐待の多くは、被害者の顔見知りや信頼する人物（約90パーセントの性的加害者は、被害者の親戚や顔見知り）によるものです。¹
2. 「誤り」です。虚偽の性的虐待の報告は、1～4パーセントにすぎません。²
3. 「誤り」です。性的虐待やハラスメントが起きると、常に、大きな心的外傷を与える可能性があります。トラウマ（心的外傷）の程度は、多くの要因によって異なり、「普通の」十代の子供が影響を受ける程度もさまざまです（例えば、状況を食い止めることができず無力に感じたり、混乱、恥じらい、孤独を感じたりします）。
4. 「誤り」です。加害者は、地域社会や被害者からの信頼を得るため、「青少年との接し方が上手い」という印象を作り上げているものです。
5. 「誤り」です。乏しい判断力や経験の浅さのために、学生が虐待されてもよいということにはなりません。
6. 「正しい」です。青少年はそれぞれ大人の男性または女性へと成長し始めたばかりで、しばしば行動の適切・不適切がわからないために、不快に感じたことをすぐに拒否しないこともあります。結果として、十代の子供は、自分もその行為に参加した、または加害者に行為を「許してしまった」と感じるのです。性に関する社会的な恥辱も、恥じらいの感情の起因となっています。これは、留学先の文化を体験したことがないために、余計に混乱してしまうなど、特に青少年交換の中で起こりやすいものです。
7. 「正しい」です。ロータリーの定義では、ある人の性的魅力または欠点に言及したり、噂話をするのは、ハラスメントとみなされます。ハラスメントを行う人物の性別とは無関係です。

¹ National Center for Post-Traumatic Stress Disorder（心的外傷後ストレス障害全国センター）（www.ncptsd.org）

² National Center for Post-Traumatic Stress Disorder

8. 「正しい」です。男性が女性から虐待を受けることもあります。虐待とは、「学生に対して間接または直接的に性的な行動を及ぼすこと、あるいは学生が単独で、または同性・異性および年齢を問わず、他の人との間接または直接的な性的行動に及ぶことを強制あるいは促すことを指す」のです。男子への性的虐待の報告のうち、14パーセントが女性の加害者によるものです。³
9. 「正しい」です。青少年に性的資料あるいはポルノ類を見せることは性的虐待にあたります。

配布資料3を参照 虐待とハラスメントの定義

キーポイント

- 性的虐待またはハラスメントは、身体的な接触がなくても起こりうるものです。言葉、ジェスチャー、イメージだけでも十分なハラスメントとなります。
- 国際ロータリー青少年プログラムに関与するいかなる人物も、性的虐待またはハラスメントの犯罪が起こったかどうかを独自に判断すべきではありません。この判断は、地元の当局に委ねなければなりません。

虐待やハラスメントに関する事実や定義を読み終えた後、皆さんが最も驚いたことは何ですか。

³ National Center for Post-Traumatic Stress Disorder

防止

(25分) _____ から _____ まで

キーポイント

- 青少年保護の方針は、認識、研修、ボランティア審査によって虐待やハラスメントの発生を未然に防止することを目的としています。
- こうした方針は、方針を支持する個々のボランティアの行動や対応によって強化されます。

■ スライド1を映す 青少年と接する際の行動規範に関する声明

青少年と接する成人ボランティア として、プログラムに参加する青少年を 守るためにできることは何ですか。

青少年と接する際の行動規範 に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしている。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアの人々は、ロータリーを通じて関わる児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待を防止して、彼らの身の安全を守るために最善を尽くす責任がある。

スライド1

回答例

- すべての青少年参加者を尊重する。
- 運転、監督、安全に関する規定を含む、青少年保護の方針がすべて守られていることを確認する。
- 青少年参加者にとって親しみやすく、問題に進んで耳を傾けるという雰囲気をつくる。
- 質問や懸念がある場合に相談できる人物の連絡先を青少年参加者に提供する。
- 特別ナリスクが考えられる状況を特定する。
- 最も成長していると思われる青少年でさえまだ完全な大人ではなく、こうした青少年が会話や行動を誤解する可能性があることを承知しておく。

プログラムに参加する青少年の ために、どのような安全対策が 取られていますか。

回答例

- 成人ボランティアを慎重に選考、審査、研修している。
- 大人と青少年が二人きりになることのないよう、指針を設ける（青少年交換以外のプログラムについて）。
- プログラムに関与する多数の大人が支援を提供する。

青少年参加者への虐待や ハラスメントを防止するために、 どのような方法や手段がありますか。

回答例

- 保護を強調した方針
- ボランティアや青少年参加者の選考と審査
- ボランティア、青少年参加者、両親のための研修
- 青少年参加者、ロータリー・クラブ、地域社会、その他の関係地区との協力やコミュニケーション
- 可能な限り、最も優れた体験を青少年に提供するために団結した、ロータリアン、ロータリアン以外の人々、青少年を含む、熱心なプログラム参加者

■ スライド2を映す 防止のための手段

任意演習

📄 配布資料4Aまたは4B

防止方法と参加者

防止のための手段


- ・ 方針
- ・ 選考および審査
- ・ 研修
- ・ 支援とコミュニケーション
- ・ プログラム参加者


スライド2

青少年と接するボランティアとしての役割において、皆さんは青少年プログラム参加者を守るためにどのような安全策を取ることができますか。

研修リーダーの留意点

- ボランティアが関与しているプログラムや活動に伴う具体的なリスクに、この質問を関連付けてください。
- 例えば、RYLAボランティアは、ロープのコースや懸垂下降などの野外活動に伴う身体的なリスクに特に注意を払う必要があります。
- 青少年交換で活動する多くのボランティアは、参加者のために安全な環境を提供する経験を積んでいます。こうした経験のあるボランティアに、安全に関する指針を提供してもらえよう働きかけます。

 **地区の配布資料を参照**
虐待防止に関する地区の方針地区の連絡先

 **配布資料6を参照**
ホストファミリーの役割（ホストファミリーが参加するセッションのみ）

研修リーダーの留意点

- プログラムに関係する地区の方針の具体的内容について説明します。
 - 質問や懸念がある場合に連絡できるロータリアン（通常は地区青少年保護役員）の連絡先を参加者に渡します。
-

任意演習

 **配布資料5を参照**
事例研究：虐待やハラスメントであるかどうか

性的虐待やハラスメントの疑いがある場合、皆さんは何をすべきですか。

回答例

- 青少年の安全を確保する。
- 疑惑を地元の適切な当局（児童保護、家庭相談所、警察などの機関）へ報告する。
- 地区ガバナーまたは地区青少年保護役員に直ちに通知する。
- 学生の監督責任を負う成人（受入れクラブの青少年交換役員、学生のカウンセラー、RYLAディレクターなど）に直接話をする。ただし、学生にさらなるリスクを及ぼすと考えられる場合は、これにあたらぬ。
- ホットライン（電話相談サービス）やカウンセリングなど、学生のための支援サービスを探す（またはクラブがこれを行っているか確認する）。

研修リーダーの留意点

- 法律によって報告が義務付けられている場合、教師、医者、または聖職者といった特定の個人が虐待の疑惑を報告しなければならない国もあります。
-

復習

(5分) _____ から _____ まで

☛0 キーポイント

- 性的虐待やハラスメントは青少年が直面する可能性のある、現実にとりうる問題です。
- 青少年参加者の安全を確保することは、あらゆる成人ボランティアの責務です。

研修リーダーの留意点

- すべての質問が回答されたことを確認してください。
 - すべての議題が十分に話し合われたかどうかを確認するために、研修目的を復習します。
 - 参加者に礼を述べます。
-

散会

セッション2A

問題の認識と報告

(60分)

研修目的

本セッションを終了後、参加者は次のことができるようになります。

1. 国際ロータリーのプログラムに参加する青少年への性的虐待またはハラスメントの可能性を認識し、それに対応する。
2. 性的虐待やハラスメントの申し立て報告に関するRIおよび地区の方針を理解する。

資料

スライド

3. 虐待やハラスメントの認識

配布資料

7. 虐待やハラスメントを示唆する事柄や兆候の認識
8. 虐待やハラスメントの報告

任意の配布資料

9. 示唆事項や兆候についての事例研究：「リタさんの場合」
10. 報告と事態解決のための措置に関する事例研究：「ジェイコブ君の場合」（パート1のみ）

地区の配布資料

申し立て報告に関する地区の手続
地区の連絡先

対象者

ロータリーで青少年と密接な関わりを持ち、青少年交換プログラムの参加者以外のすべての成人ボランティアで、以下が含まれます。

- RYLAカウンセラー、プログラム進行役、スタッフ
- インターアクト・カウンセラー、委員会委員
- 地区青少年プログラム委員会委員

必須研修

セッション1：認識と防止

はじめに

(5分) _____ から _____ まで

📌 キーポイント

- ・ 国際ロータリーは、青少年保護を大変深刻にとらえ、性的虐待やハラスメントの申し立てを扱う特別な報告の指針を設けています。
- ・ すべての申し立ては慎重に取り扱い、しかるべき機関へ報告しなければなりません。

問題の認識と報告

(50分) _____ から _____ まで

皆さんは、どのような場合に、青少年参加者が性的虐待やハラスメントを受けているという疑いを抱きますか。

📄 配布資料7を参照

虐待やハラスメントを示唆する事柄や兆候の認識

回答例

- 極度に活動的になったり、または引きこもりになる。
- 自尊心が低い。
- 恥じらいの感情を表す。
- 学校での成績が下がり始める。
- 摂食障害を起こす（特に女の子に多い）。
- 攻撃的または危険を冒すようになる（特に男子に多い）。
- 不眠症または悪夢を見る。
- 短気になったり、怒りを爆発させる。
- 心配性またはうつ病になる。
- 頭痛、腹痛、腰痛など、身体的な緊張から生じる症状がある。

- 自殺願望や自己破壊的な行動がある。
- 薬物やアルコールを使用するようになる。

📺 スライド3を映す 虐待やハラスメントの認識

任意演習

📄 配布資料9を参照

示唆事項や兆候についての事例研究： 「リタさんの場合」

虐待やハラスメントの認識

虐待やハラスメントの兆候は、その他の問題の兆候と似ている場合がよくあります。

次の事柄に注意してください。

- 突然の行動の変化
- 一連の症状
- 学校の成績の低下

スライド3

🗨️ キーポイント

- 虐待やハラスメントを示唆する事柄は、素行の問題や薬物使用その他の問題との区別が難しい場合があります。実際に何が起きているのかを把握するため、十分に時間を取ってください。
- 突然の行動の変化や、一連の症状に注意してください。
- 青少年はそれぞれ一個人であり、その個人特有の反応を示します。
- 青少年がしかるべき行動をとれないのは、「悪い子供」だからではなく、心理的または身体的な傷を負っている可能性があることを理解してください。この傷は、プログラムへの参加前後、または参加中に起こった可能性があります。

青少年参加者が、虐待やハラスメントを受けたことを誰かに話す場合もあります。こうした状況に備え、誰が話の聞き役として待機しておくべきでしょうか。

回答例

- すべての成人ボランティアや青少年と関わるその他の人々。
- 学生の両親。学生は、まず自分の親に虐待やハラスメントの問題を報告することがよくある。

- 教師、聖職者、青少年に関わるその他の成人で、申し立てを報告する代理人を務められる人物。
- その他の青少年。学生は、自分の体験を、大人よりも同年代の友達に打ち明けることがよくある。
- クラブや地区の役員および配偶者。虐待に巻き込まれた青少年は、特定の性別の人の方が話しやすいと感ずることがある。青少年は、クラブや地区指導者の配偶者に最初に報告をすることもある。

🔑 キーポイント

- 虐待やハラスメントの被害者は、自分が安心できる人物に状況を報告するものです。これは、友達、教師、信頼している大人、親戚といった人々である可能性があります。
- 青少年参加者のための効果的なオリエンテーション・プログラムでは、虐待やハラスメントを迅速に報告することの重要性に焦点を当て、報告の方法について具体的な情報を提供します。

青少年が虐待やハラスメントの報告をしてきた場合、または虐待やハラスメントの可能性が疑われる場合、皆さんは何をすべきですか。

回答例

- 青少年の安全を確保する。
- 問題を、地元の適切な機関に報告する。
- 地区ガバナーへ通知する。
- 学生の監督責任を負う大人に直接話をする。ただし、学生にさらなるリスクを及ぼすと考えられる場合は、これにあたらぬ。
- 青少年の両親と話す。
- ホットライン（電話相談サービス）やカウンセリングなど、学生のための支援サービスを探す（またはクラブがこれを行っているか確認する）。
- こうした事態が起こった際の青少年の精神的または身体的なニーズを理解する。

研修リーダーの留意点

- 質問と回答例は、セッション1と同様ですが、キーポイントは新しい内容で、報告について話し合う本セッションの導入部となっています。
-

🗨️ キーポイント

- 最優先されるべきなのは、青少年を守ることです。成人ボランティアによる些細な疑いや、青少年からのあいまいな報告に対しても、積極的な対応が取られるべきです。
- 虐待の疑惑に対する適切な対応はさまざまですが、虐待やハラスメントの疑いはすべて慎重に取り扱わなければなりません。虐待やハラスメントの疑いに対処するにあたり、地区の方針がある場合は、行うべき適切な行動を決定するため、これを参照します。
- 成人ボランティアには、地元の法律で定められている義務がある場合に注意してください。教師、医者、聖職者といった特定の個人がしかるべき機関に虐待の疑惑を報告しなければならない国もあります。
- いかなる決定を下す際も、必ず青少年の安全を第一に検討するようにしてください。
- 申し立てられた当人の「肩を持つ」ことはしないでください。
- 青少年の申し立てを信じること、また事態を報告したのは正しい選択であることを話し、青少年を安心させます。
- 虐待やハラスメントに関する誤解に基づいて行動する人々を教育します。
- いかなる人も、事態を報告した青少年を罰することは許されません。
- 青少年プログラム参加者および両親を含むすべての関係者が必ず知識を持つようにしてください。
- クラブの噂話ではなく、完全な調査を基に必ず決定を行ってください。

**申し立てのあった大人に対しては、
どのような対応が取られるべきですか。**

📌 キーポイント

- 調査が行われている間は、当事者は青少年との接触を持つべきではありません。
- 大人が性的虐待やハラスメントを自白した場合、有罪判決を受けた場合、または有罪である場合、その人物は国際ロータリー青少年プログラムから永久に除外されなければなりません。その個人がロータリアンである場合、いかなるロータリー・クラブからも除名されなければなりません。
- 調査の結論が導き出されない場合、地区青少年保護役員に相談し、最善の対応方法について提案をしてもらいます。

📄 配布資料8を参照 虐待やハラスメントの報告

📄 地区の配布資料を参照 申し立て報告に関する地区の手続地区の連絡先

研修リーダーの留意点

- 申し立てや報告に関する地区方針の具体的内容を説明します。
- 配布資料8は、単独で使用したり、地区の作成した配布資料と合わせて活用することもできます。
- このセッションでは、「性的虐待およびハラスメントの申し立て報告に関する指針（本手引きの補遺資料B）」の全文を配布資料として利用することを検討してください。
- 質問や懸念がある場合に連絡できるロータリアン（通常は地区青少年保護役員）の連絡先を参加者に提供します。報告された事態について支援を提供するために、常に待機する独立のカウンセラーがいる地区もあります。

任意演習

📄 配布資料10を参照 報告と事態解決のための措置に関する事例研究： 「ジェイコブ君の場合」（パート1）

📌 キーポイント

- 性的虐待やハラスメントを受けた青少年は、無力に感じる人が多いため、可能な限り、選択する機会を与えることが重要です。
- 虐待やハラスメントの被害者は、心的外傷のために反社会的な行動に出ることが多く、刑罰や批判ではなく、支援が与えられるべきであることを他の人々に教えます。

復習

(5分) _____ から _____ まで

📌 キーポイント

- 性的虐待やハラスメントに関するすべての申し立てを慎重にとらえ、地区の要件に従ってこれを取り扱わなければなりません。
- 地区ガバナーまたは地区青少年保護役員は、申し立てに対する対応の調整において重要な役割を果たします。

研修リーダーの留意点

- すべての質問が回答されたことを確認してください。
- すべての議題が十分に話し合われたかどうかを確認するために、研修目的を復習します。
- 参加者に礼を述べます。

散会

セッション2B

問題の認識と報告 ロータリー青少年交換

(90分)

研修目的

本セッションを終了後、参加者は次のことができるようになります。

1. 青少年への性的虐待やハラスメントの事態を認識し、それに対応する。
2. 性的虐待やハラスメントの申し立て報告に関するRIおよび地区の方針を理解する。
3. 性的虐待やハラスメントの申し立てへの対応方法を特定する。

資料

スライド

3. 虐待やハラスメントの認識
4. 申し立てへの対応

配布資料

7. 虐待やハラスメントを示唆する事柄や兆候の認識
8. 虐待やハラスメントの報告

任意の配布資料

9. 示唆事項や兆候についての事例研究：
「リタさんの場合」
10. 報告と事態解決のための措置に関する事例研究：
「ジェイコブ君の場合」
11. カウンセラーの役割
12. クラブまたは地区青少年交換役員の役割

地区の配布資料

申し立て報告に関する地区の手続
地区の連絡先

対象者

ロータリー青少年交換プログラムのすべての成人ボランティアで、以下が含まれます。

- すべて地区青少年交換委員会委員
- ホストファミリー内の成人
- カウンセラー
- クラブ青少年交換委員会委員および連絡担当者

必須研修

セッション1：認識と防止

はじめに

(5分) _____ から _____ まで

☞ キーポイント

- 国際ロータリーは、青少年保護を大変深刻にとらえ、性的虐待やハラスメントの申し立てを扱う特別な報告の指針を設けています。
- ロータリーの虐待防止システムは、何層にも分かれ、各段階でそれぞれの参加者が役割を担っています。例えば、地区青少年交換委員会は青少年保護方針をつくり、地区またはクラブ役員は青少年交換プログラムに関わる成人一人ひとりについて慎重に審査および選考を行います。
- 虐待やハラスメントの申し立てはすべて深刻に受け止められなければなりません。犯罪行為の申し立ては、適切な機関へ報告されなければなりません。

問題の認識と報告

(45分) _____ から _____ まで

☞ キーポイント

- 青少年交換は通常、参加者が安全な環境で新しい文化体験をすることができる実りの多いプログラムです。
- 万一、問題が起きた際は、青少年交換役員が事態の深刻さを把握し、必要なレベルの対応を判断することになります。

新しい環境へ適応する際に、学生はどのような困難を経験するでしょうか。

回答例

- ホームシック
- 言語の問題
- 友達がなかなかできない
- その文化に特有の社会の行動様式を解釈できない
- ホストファミリーとの問題

- しつけまたは素行の問題
- その他の感情面での問題

学生が困難に直面していることを、 どのようにして知ることができますか。

回答例

学生が……

- 学業の問題、ホームシック、言語的な問題、またはその他に関連する問題についてカウンセラーに話をする。
- 新しいホストファミリーに移ることを希望する。
- 受入国の言語を学ぶ様子がない。
- 新しい友達や積極的な活動について話すことがない。
- 実家に頻繁に電話をする。
- 短気になったり、怒りを爆発させる。
- 心配性またはうつ病になる。

ホストファミリーまたは学校の関係者から……

- 態度の問題で苦情を受ける。
- 学業成績が悪いことが指摘される。
- 社会的に十分適応できていないことについて懸念が示される。

こうした兆候が認められた場合、 皆さんは何をすべきですか。

回答例

- 皆さんが気付いた兆候について学生と話し合う。
- 学生が話を始められるようくだけた雰囲気で大まかな質問をする。
- 学生が打ち込むことのできる活動探しを支援する。
- さらなる言語援助の手配または支援を提供する。
- 学生にホストファミリーと話すよう促したり、学生とホストファミリーの間で仲介役を務める。

- 学校や地域社会の関係者と話し、学生のための支援を手配する。
- 医療援助、カウンセリング、支援ホットライン（電話相談サービス）など、支援サービスを探す。
- 重要度の低い問題を解決するための地元の対応が上手くいかなかった場合や、深刻な問題が生じた際は、地区青少年交換委員長に通知する。

学生が虐待またはハラスメントを受けていることを疑わせる学生の行動や行為には、どのようなものがありますか。

配布資料7を参照

虐待やハラスメントを示唆する事柄や兆候の認識

回答例

- 突然、説明のつかないホームシックを訴える。
- 極度に活動的になったり、または引きこもりがちになる。
- 自尊心が低い。
- 恥じらいの感情を表す。
- 学校での成績が下がり始める。
- 摂食障害を起こす（特に女子に多い）。
- 攻撃的または危険を冒すようになる（特に男子に多い）。
- 不眠症または悪夢を見る。
- 短気になったり、怒りを爆発させる。
- 心配性またはうつ病になる。
- 頭痛、腹痛、腰痛など、身体的な緊張から生じる症状がある。
- 自殺願望や自己破壊的な行動がある。
- 薬物やアルコールを使用するようになる。

■ スライド3を映す 虐待やハラスメントの認識

任意演習

📄 配布資料9を参照

示唆事項や兆候についての事例研究： 「リタさんの場合」

🗨️ キーポイント

- 虐待やハラスメントの示唆事項は、素行の問題、薬物使用、またその他の問題と区別が難しい場合があります。実際に何が起きているのかを把握するため、十分に時間を取ってください。
- 突然の行動の変化や、一連の症状に注意してください。
- 青少年はそれぞれ一個人であり、その個人特有の反応を示します。
- 青少年がしかるべき行動をとれないのは、「悪い子供」だからではなく、心理的または身体的な傷を負っている可能性があることを理解してください。この傷は、プログラムへの参加前後、または参加中に起こった可能性があります。

断固として即時に対応しなければなら ないほど深刻な問題であるかどうか を、どのように判断しますか。

研修リーダーの留意点

- グループ内で経験のあるロータリアンから、学生を支援するために青少年交換に共通する課題を乗り越えることについて、簡潔に説明してもらいます。
- ロータリアンが自分自身の経験について話す時間を数分設けます。

虐待やハラスメントの認識

虐待やハラスメントの兆候は、その他の問題の兆候と似ている場合がよくあります。

次の事柄に注意してください。

- 突然の行動の変化
- 一連の症状
- 学校の成績の低下

スライド3

青少年参加者は、自分が虐待やハラスメントを受けたことを報告する場合もあります。こうした状況に備え、誰が話の聞き役として待機しておくべきでしょうか。

回答例

- すべての成人ボランティアと青少年に関わるその他の人々
- 学生の両親
- 教師、聖職者、青少年に関わるその他の成人で、申し立てを報告する代理人を務められる人物
- 青少年交換学生の仲間
- 学生と同年代の子供を含む、ホストファミリー
- クラブや地区の役員、カウンセラーおよび配偶者

📌 キーポイント

- 虐待やハラスメントの被害者は、自分が安心できる人物に状況を報告するものです。これは、友達、教師、信頼する成人、または親戚といった人々である可能性があります。
- 学生は、まず自分の両親に虐待やハラスメントの問題を報告することがよくあります。
- 学生は、自分の体験を、大人よりも同年代の友達に打ち明けることがよくあります。
- 虐待に巻き込まれた青少年は、特定の性別の人の方が話しやすいと感じることがあります。青少年は、クラブや地区指導者の配偶者に最初に報告をすることもあります。
- 青少年参加者のための効果的なオリエンテーション・プログラムでは、虐待やハラスメントを迅速に報告することの重要性に焦点を当て、報告の方法について具体的な情報を提供します。
- 地区は、性的虐待やハラスメントの報告を受けた際に従うべき指針を採択しています。
- 地区は、性的虐待やハラスメントの報告を受けた際に従うべき指針を採択しています。

青少年が虐待やハラスメントの報告をしてきた場合、または虐待やハラスメントの可能性が疑われる場合、皆さんは何をすべきですか。

回答例

- 青少年の身の安全を確保する。これには、学生を活動やホストファミリーから引き離すことも含まれる。
- 学生の報告を信じること、また事態を報告したのは正しい選択であることを話し、青少年を安心させる。
- 申し立てに対して偏見なく対応する。
- こうした事態が起こった際の青少年の精神的または身体的なニーズを理解する。
- 気付いた兆候について学生と話す。学生がある事態について皆さんもしくはカウンセラーと話したがない場合、他の誰かと話をするよう学生に強く勧める。
- 児童保護サービスや警察などを含む、地元の適切な機関に申し立てを報告します。
- 地区青少年交換役員、地区青少年保護役員、地区ガバナーに通知する。
- 医療援助、カウンセリング、支援ホットライン（電話相談サービス）など、学生のための支援サービスを求める。

研修リーダーの留意点

- 質問と回答例は、セッション1と同様ですが、キー・ポイントは新しい内容で、報告について話し合う本セッションの導入部となっています。

🔑 キーポイント

- 虐待やハラスメントの疑いは、深刻な安全上の懸念として対処されなければなりません。
- 虐待やハラスメントの疑惑に対する適切な対応は国によって異なりますが、性的虐待やハラスメントのすべての申し立ては慎重に扱われなければなりません。

- 最優先事項は学生の安全を守ることです。些細な疑いでも、大事を引き起こす可能性があります。これについてカウンセラーは支援サービス、警察、地区青少年交換委員長に連絡を取ることが必要な場合も生じます。
- 成人ボランティアは、地元の法律による義務事項がある場合に注意してください。特定の個人が指定の機関に虐待の疑惑を報告しなければならない地域もあります。カウンセラーは各自の責務について調べる必要があります。

配布資料8

虐待やハラスメントの報告

地区の配布資料を参照

申し立て報告に関する地区の手続地区の連絡先

研修リーダーの留意点

- 申し立てや報告に関する地区方針の具体的な内容を説明します。
 - 配布資料は、単独で資料したり、地区の作成した配布資料と合わせて活用することもできます。
 - このセッションでは、「性的虐待およびハラスメントの申し立て報告に関する指針」の全文を配布資料とすることを検討してください。
 - 質問や懸念がある場合に連絡をとるロータリアン（通常は、地区青少年保護役員）の連絡先を提供します。報告された事態について支援を提供するために、常に待機する独立のカウンセラーがいる地区もあります。
-

申し立てへの対応

(35分) _____ から _____ まで

■ スライド4を映す 申し立てへの対応

研修リーダーの留意点

- これまでの話し合いでは、虐待やハラスメントを認識することに焦点を当て、申し立てに対する第1段階、報告を受けることを扱ってきました。
- 残りのセッションで、迅速な対処と事態解決に必要な措置について話し合います。

申し立てへの対応

1. 報告の受理
2. 迅速な対応
3. 事態解決のための措置

スライド4

🗨️ キーポイント

- 青少年交換役員は、緊急時に備え、常に申し立て報告の書式を携帯しておくとういでしょう。
- すべての青少年交換ボランティアは、地区内の特定の連絡網に従い、いかなる申し立ても指定のロータリアン（通常、地区青少年保護役員または地区青少年交換役員）へ報告するよう指示されるべきです。
- 地区青少年交換役員は、必ず手続の各段階が遂行されるよう確認する責務を負うべきです。
- 青少年交換プログラムに関わる成人ボランティアに対する申し立てがあった場合、その人物は直ちに担当の任務から下り、あらゆる調査に協力しなければなりません。

申し立てが報告された後、どのような対応をとるべきですか。

回答例

- 学生に支援サービスを提供する。
- 調査中は、申し立てのあった加害者と青少年との接触を断つ。
- 警察に協力する。

- 独立したロータリアン以外のカウンセラーを学生に提供する。
- 受入国に引き続き滞在するか、帰国をするかの選択肢を学生に与える（ただし親の書面による承認が必要）。
- 学生の親に連絡を取る（通常は派遣側の地区委員長を通じて）。
- 相手国の地区青少年交換委員長に連絡を取る。
- 国際ロータリーにその後の報告を行う。
- 虐待やハラスメントに関する誤解に基づいて行動する人々を教育する。
- いかなる人物も、事態を報告した青少年を罰することは許されない。
- いかなる決定をする際も、必ず青少年の身の安全を第一に検討する。
- 申し立てられた当人の「肩を持つ」ことはしない。
- 必ずすべての関係者が知識を持つようにする。これには、学生、学生の親、ホストファミリー、受入側および派遣側地区、受入側および派遣側クラブおよび学校関係者が含まれる。
- 学生が引き続き交換を行うことを希望する場合、学生を早期に帰国させるよりも、新しいホストファミリー、受入れクラブ、学校に移動させることを検討する。
- クラブの証言を頼りにするのではなく、必ず完全な調査に基づいて決定が下されるようにする。

任意演習

配布資料10を参照

報告と事態解決のための措置に関する事例研究： 「ジェイコブ君の場合」（パート1）

申し立てのあった成人に対して、 どのような手続が行われるべきですか。

回答例

- 調査の進行中は、国際ロータリーのプログラムや活動における青少年との接触を一切断つ。

- 警察の調査の結論が導き出されない場合、地区青少年保護役員や地区審査委員会に相談し、最善の対応方法について提案をしてもらう。

🔑 キーポイント

- 成人が性的虐待やハラスメントを自白した場合、有罪判決を受けた場合、または有罪である場合、その人物は国際ロータリー青少年プログラムから永久に除外されなければならない。その個人がロータリアンである場合、いかなるロータリー・クラブからも除名されなければならない。

虐待やハラスメントの状況において、学生を帰国させる時期をどのように判断しますか。

🔑 キーポイント

- 性的虐待やハラスメントを受けた学生は、自動的に帰国させられることを恐れ、報告を行わないことがあります。
- 学生にどの選択肢を希望するか尋ね、その希望を学生の両親または保護者にも伝えてください（学生が引き続き滞在を希望する場合は、書面による親の承認が必要です）。性的虐待やハラスメントを受けた青少年は、無力に感じることが多いため、可能な限り、選択する機会を与えることが重要です。
- 虐待やハラスメントの被害者は、心的外傷のために反社会的な行動に出ることが多く、刑罰や批判ではなく支援サービスが与えられるべきであることを他の人々に教えます。
- いかなる人物も、事態を報告した青少年を罰することは許されません。

研修リーダーの留意点

- 学生が帰国を望む場合、旅行の手配を行う前に、警察に相談してください。犯罪の目撃者または被害者が国を離れることは、法律に反する場合があります。

任意演習

📄 配布資料10を参照

報告と事態解決のための措置に関する事例研究：
「ジェイコブ君の場合」（パート2および3）

任意の配布資料

📄 配布資料11を参照

カウンセラーの役割

📄 配布資料12を参照

地区およびクラブ青少年交換役員の役割

復習

(5分) _____ から _____ まで

🔑 キーポイント

- 性的虐待やハラスメントに関するすべての申し立てを慎重にとらえ、地区の要件に従ってこれを取り扱わなければなりません。
- 青少年交換役員は、虐待やハラスメント防止に関する調整や申し立てに対する対応において重要な役割を果たします。
- 最初に報告を受けるのは、カウンセラーであることが多くあります。

研修リーダーの留意点

- すべての質問が回答されたことを確認してください。
- すべての議題が十分に話し合われたかどうかを確認するために、研修目的を復習します。
- 参加者に礼を述べます。

散会

セッション3

青少年交換学生のための支援システムをつくる

(60分)

研修目的

1. ロータリー青少年交換学生のための安全対策の必要性をすべての成人ボランティアに説明する。
2. 虐待とハラスメント防止に関するRIと地区の方針を理解する。
3. 参加者の安全を守るための防止および運営の方法を立案し、導入する。

資料

スライド

5. 青少年交換支援システム

配布資料

11. カウンセラーの役割
12. 地区およびクラブ青少年役員の役割

任意の配布資料

13. 学生のための支援システムをつくる

対象者

青少年交換プログラムのすべての成人参加者で、以下が含まれます。

- 地区青少年交換委員会委員
- ホストファミリー内の成人
- カウンセラー
- クラブ青少年交換委員会委員および連絡担当者

必須研修

セッション1および2

はじめに

(5分) _____ から _____ まで

🔑 キーポイント

- ・ ロータリー青少年交換プログラムは、RIの常設プログラムの中で最も高い参加率を誇っています（全地区の96%が参加）。
- ・ 虐待やハラスメントの防止および管理に関する効果的な計画は、このプログラムを引き続き成功させるために欠かせません。

📄 配布資料11および12を参照

カウンセラーの役割、地区およびクラブ青少年交換役員の役割

青少年交換役員またはカウンセラーとして、プログラムにおける皆さんの役割は何ですか。

回答例

- 学生がプログラムで実りある経験が得られるよう、支援を提供する。
- 青少年交換における調整役を務める。
- 海外の連絡担当者や学生とコミュニケーションをとる。
- 選考やオリエンテーションを調整する。
- ホストファミリーやクラブ・レベルのボランティアの選考や研修といった責務を遂行するにあたり、クラブを援助する。
- すべての参加者が期待事項と責務を確実に理解するようにする。
- 学生と定期的に会う（カウンセラーは少なくとも毎月1回）。

🔑 キーポイント

- ・ 地区青少年交換役員は、すべてのプログラム参加者の活動を調整するにあたって、重要な役割を担っています。

- クラブ青少年交換役員は、ホストファミリー、学生、地区をつなぐ主なパイプ役を務めます。
- カウンセラーは、学生、ロータリー・クラブ、地区支援の間で最も重要なパイプ役となります。

支援システムをつくる

(50分) _____ から _____ まで

学生のための支援システムは、地区の虐待やハラスメント防止に関するシステムをどのように強化させることになりますか。

回答例

- 学生が多く信頼する人々に確実に連絡が取れるようにする。
- 虐待やハラスメント、地元の状況、安全対策、助けを求める場所など、学生に情報を与える。
- 学生の状況監督を担当する大人を配置し、必要であれば問題が悪化する前に早期に支援を提供する。

学生が確実に情報を得るためには、皆さんはどうすべきですか。

回答例

- 性的虐待やハラスメントの防止について、率直に話をする。
- 普通の行いと不適切な性的行為との違いを区別できるよう、自国の文化について学生に説明する。
- 医療サービス、精神的な支援サービス、緊急ホットライン（電話相談サービス）、警察、その他の関連支援源を含む、地元の支援サービスの情報および電話番号のリストを学生に提供する。

- 新しい環境で起こりうる特別なリスクについて学生と話を
する。例えば、避けるべき地域、1人または少人数で外出
するには危険な夜間の時間帯、外国人に対する地元の人の
見方などが挙げられる。

クラブや地区で受け入れる青少年交 換学生のための効果的な支援システ ムを確立するよう、提案できることは 何ですか。

回答例

- 学生がロータリー・クラブの例会や活動に定期的に参加し、
必ず個々のロータリアンに紹介されるようにする。
- 学生と同性の成人に学生を紹介するよう特に努め、学生と
その成人が独自の連絡方法を確立するよう奨励する。
- 学生が学校や地域の活動に参加するよう奨励する。交換前
に、学生の興味のある事柄を聞いておき、同様の活動を行
っているグループに学生を紹介する計画を立てる。
- 自宅で家族と一緒に食事をするため、1人または複数の学
生を招待する。
- 一人ひとりの学生と会合を設けたり、電話で話をする予定
を立てる。いつでも連絡を取れる電話番号を学生に知らせ
ておく。
- 学生の指導カウンセラーや教師と知り合い、学生の進展状
況について定期的に話をする。
- 交換中を通じて、ホストファミリーの家で学生と会うよう
にする。ホストファミリーがホストとしての役割を理解す
るよう助け、学生を危険にさらすような状況がないか確認
する。
- 一人ひとりの学生について、支援を求めるためのさまざま
な連絡方法を準備し、緊急連絡方法を確立する（電話、Eメ
ール、直接に会う、葉書など）。

すべての地区で一貫して、ロータリー青少年交換プログラムのための性的虐待やハラスメント防止および報告の体制を整える利点は何ですか。

回答例

- ロータリアンは、他国の相手地区が青少年保護に関し、同じ最低基準に適ったプログラム方針を適用していることと知ることによって、安心感を得ることができる。
- 適切な対応によって、虐待を防止したり、その影響を軽減させることができる。
- 性的虐待やハラスメントの防止に真摯に取り組んでいることが知られれば、将来の交換学生や保護者、ホストファミリーがプログラムにもっと関心を持つようになる。

青少年交換学生を守るために誰が責任を担っていますか。

🔑 キーポイント

- 皆さんです。すべてのロータリアン、プログラムに関与する成人、学生自身が安全な環境をつくるための責任を担っています。

青少年交換学生のための支援システムはどのような人々によって構成されますか。

🔑 キーポイント

- 学生のための支援システムには接触を持つほぼすべての人々が含まれます。

回答例

- 地区ガバナー（プログラム全体の責任者、地区委員長を任命する）

- 地区青少年交換役員（プログラムの運営とクラブの参加を調整する）
- クラブ会長（クラブの参加を支援、クラブ青少年交換役員を任命する）
- クラブ青少年交換役員（学生の派遣および受け入れを計画し、実行する）
- カウンセラー（クラブとそれぞれの学生との連絡役を務める）
- ホストファミリー（学生のための部屋、食事、協力的な環境を提供する）
- 保護者（必要な費用を負担する。航空費、保険、小遣い、交換中を通じて学生と連絡をとる。）
- 学生（母国と派遣ロータリー・クラブや地区からの親善大使を務める。プログラム規定に従う。カウンセラーや適切なその他の成人に問題を知らせる。）

■ スライド5を映す
青少年交換支援システム

それぞれの個人は、学生のための効果的な支援システムにどのように貢献することができますか。

青少年交換支援システム

- ・ 地区ガバナー
- ・ 地区青少年交換役員
- ・ クラブ会長
- ・ クラブ青少年交換役員
- ・ カウンセラー
- ・ ホストファミリー
- ・ 親
- ・ 学生

スライド5

任意演習

📄 配布資料13を参照

学生のための支援システムをつくる

交換学生を受け入れ地域社会から隔ててしまう特別な障壁は何ですか。

回答例

- 言語
- 文化的誤解

- 事情を良く知らない人々と微妙な問題について話したがないこと
- 恥じらいや何か間違っただけをやってしまった、または家族やロータリー・クラブをがっかりさせてしまったという感情

効果的な支援システムを提供するために、これらの障壁にどのように対処しますか。

回答例

- 学生の母国語を話すことのできる人物を、緊急連絡先として指定する。
- 事態について偏見なく話ができるよう、学生とボランティアを研修する。
- 学生が最も安心して話すことのできる大人の連絡先を、できる限り多く提供しておく。
- クラブのカウンセラーや支援システムのその他の人々とともに、受入れオリエンテーション・プログラムを実施する。

地区内の学生と直接に接触がない場合、問題を認識するのは特に困難かもしれません。実際に学生に会うことなく、虐待やハラスメントの疑いがあることを知るにはどうしたらよいですか。

クラブからの報告で警戒を要するのはどのようなものですか。

地区の派遣した学生からのEメールで、注意を喚起するサインとはどのようなものですか。

問題のあるホストファミリーの状況と虐待とを、どのように区別しますか。

文化的誤解と虐待とを、どのように区別しますか。

初めて子供を海外に出す心配を抱えた親の反応と虐待とを、どのように区別しますか。

研修リーダーの留意点

- 実際に学生とは直接に接触しなかったものの、虐待やハラスメントが疑われた事例について、グループ内で経験のある青少年交換役員やカウンセラーに尋ねてください。
-

復習

(5分) _____ から _____ まで

☛0 キーポイント

- 性的虐待やハラスメントは、青少年が直面する、現実起こりうる問題です。
- 交換中は、すべての学生が強力な支援システムを持つべきです。
- 性的虐待やハラスメントの防止と対応に焦点を当てた効果的な支援システムは、青少年交換学生の保護に欠かせないものです。

研修リーダーの留意点

- すべての質問が回答されたことを確認してください。
 - すべての議題が十分に話し合われたかどうかを確認するために、研修目的を復習します。
 - 参加者に礼を述べます。
-

散会

セッション4

安全な交換体験に備えて： 青少年交換学生の親

(60分)

研修目的

本セッションを終了後、参加者は次のことができるようになります。

1. 留学に伴って起こりうるリスクを特定する。
2. 安全な交換に必要とされる技能と、あらゆる虐待やハラスメントに関する報告の重要性を認識する。
3. 青少年交換に参加する学生を守るためロータリー地区が取るべき手順を理解する。

資料

スライド

5. 青少年交換支援システム
6. 青少年と接する際の行動規範に関する声明

配布資料

14. 安全な交換体験に備えて：親

任意の資料

15. 事例研究：交換学生の親

地区の配布資料

地区プログラムの規定、緊急時の対応、連絡先、その他の学生支援システムに関する情報を含む配布資料を利用することができます。

対象者

派遣青少年交換学生の親

必須研修

なし

はじめに

(15分) _____ から _____ まで

研修リーダーの留意点

- 親のための前回のオリエンテーション・セッションは、地区の青少年交換プログラムの構造、親の財政的および保険の責任、交換体験、その他の詳細に焦点を当てるべきものでした。
- このセッションでは学生の安全、特にロータリー地区、親、参加学生にできることは何かに焦点を当てます。
- 地区や相手地区の方針の具体的な情報をこのセッションに含めてください。
- 地区が特定の保険の必須要件を定めている場合は、その情報もセッションに含めることを検討してください。

🔑 キーポイント

- ロータリー青少年交換プログラムは、15～19歳の青年に、異文化を経験し、幅広い世界観を学ぶ機会を与えています。
- ロータリーの青少年交換プログラムには、毎年、80を超える国や地域を代表する年間7,000名以上の学生が参加しています。
- 個人として、また青少年交換親善大使として、世界を旅行するにはある程度のリスクが伴います。

青少年交換に参加中、学生が直面しうるリスクには、どのようなものがありますか。

回答例

- 盗難
- 病気やけが
- 事故
- 旅行に関する問題

- ハラスメント
- 自然災害
- 政情不安
- 薬物／アルコール濫用
- 肉体的／性的／精神的虐待

**自分の子供が遠く離れている間に
最も心配されるリスクには、
どのようなものがありますか。**

**そうしたリスクは、自宅にいる場合と
どのように異なりますか。**

🔑 キーポイント

- 親は、学生が自宅にいるときも、程度こそ異なるものの、こうしたリスクが常に存在していることを理解すべきです。
- 青少年交換学生は、外国人として、地元の人々とは非常に異なる外見のために、盗難や暴力の的となる可能性があります。
- 青少年交換学生は大変自信に溢れているもので、自分で「対処できる」と考えてしまうため、より危険な状況に巻き込まれる可能性があります。
- 青少年交換学生は通常、成功を重要視し、交換を成功させようと懸命になるため、病気や虐待といった問題を隠そうとすることがあります。

安全な交換体験に備えて

(40分) _____ から _____ まで

青少年交換学生の身の安全を守るための責任を担うのは、どのような人々ですか。

回答例

- ロータリアンとロータリアン以外のボランティア
- ホストファミリー
- カウンセラー
- 学生
- 親
- 教師や受入地域のその他の人々

🗨️ キーポイント

- 青少年交換は地区が運営するプログラムで、国際ロータリーによって確立された指針を基に、それぞれのロータリー地区が独自の方針をつくります。
- ロータリー・クラブや地区は受け入れる学生の福利に対する責任の一端を担い、数多くの安全対策を設ける必要があります。
- ロータリー地区は、各自、地区委員長が取りまとめる青少年交換支援システムを持っています。

📄 配布資料14

安全な交換体験に備えて：親

🎬 スライド5を映す 青少年交換支援システム

研修リーダーの留意点

- 多くの親は、国際ロータリーや地区の方針に馴染みがないため、セッションのこの部分は、討論よりも講義として実施するとよいでしょう。

青少年交換支援システム

- ・ 地区ガバナー
- ・ 地区青少年交換役員
- ・ クラブ会長
- ・ クラブ青少年交換役員
- ・ カウンセラー
- ・ ホストファミリー
- ・ 親
- ・ 学生

スライド5

- 参加者には、発表の終わりまで質問を待ってもらおうよう伝えます。

任意演習

📄 配布資料15

事例研究：交換学生の親

🎬 スライド6を映す 青少年と接する際の行動規範に関する声明

🗨️ キー・ポイント

- 参加するロータリー・クラブや地区は、青少年交換学生の身の安全を守るため全力を傾けています。
- 青少年交換プログラムで学生と接触のある成人については、申し込み書、身元照会や経歴照会、面接を通じて完全な審査が行われます。
- ホストファミリーは、異文化を学ぶことに関心があり、学生を受入れることを希望するボランティアです。ロータリアンおよびロータリアン以外の両者ともに、ホストファミリーとなる可能性があります。
- 自分の子供の留学の条件として受け入れを義務付けられている家庭はありません。またホストファミリーに金銭は支払われません。
- ロータリー・ボランティアは、学生の受け入れの前に、ホストファミリーを訪問し、面接を行います。
- 受入側のカウンセラーは、学生と受入れロータリー・クラブとの連絡役を務めます。カウンセラーは学生が新しい環境に順応するのを助け、交換中に支援を提供します。
- ロータリー・クラブや地区は、より良い交換体験を確実に行えるよう、交換の前後や期間中にすべての青少年交換学生に対して指針や支援を提供します。
- 学生や親は、緊急時に常に誰かに助けを求められるよう、クラブと地区の数名のロータリアンの連絡先を受け取ります。
- 各地区は、地元の支援サービスのリストを受入れ学生に提供します。

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしている。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアの人々は、ロータリーを通じて関わる児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待を防止して、彼らの身の安全を守るために最善を尽くす責任がある。

スライド6

- 学生のための支援システムには、学生の行いに関する諸規則が含まれます。
- こうしたプログラムの規則は、ホストファミリーや留学国に順応するのを助け、適切な行動に関する指針を提供し、危険性のある活動から学生を守ることで、学生を保護することを目的としています。
- プログラムの規則（「4つのD」と呼ばれ、Dating [交際]、Driving [運転]、Drinking [飲酒]、Drugs [薬物] の4つを禁じています）は、地区ごとに若干異なるものですが、常に禁じられているのは、薬物やアルコールの使用、運転、承認なしの旅行、および交際です。

研修リーダーの留意点

- 学生のための地区方針やプログラムの規則について質問があるか、参加者に尋ねます。
- 交換学生のための地区のプログラム規則と、その他地区特有の情報がある場合は、それを併せて配布します。母国の地区と留学先の地区のプログラムの規則の違いを説明します。
- オリエンテーション・セッション中に扱った資料について親が質問をしたい場合に連絡の取れるロータリアンを、連絡先リストから1人指名します。

地区の配布資料を参照

地区プログラム規則、緊急時の対応、連絡先、その他の学生支援システムの情報

青少年交換プログラムが、青少年保護 手続をプログラム指針に組み込んで いるのはなぜですか。

キーポイント

- 青少年との活動を伴ういかなるプログラムにも、性的虐待やハラスメントの危険性が伴います。
- 参加者は、十代の子供の親として、学校、スポーツ団体、教会、その他の青少年奉仕団体が設ける同様の青少年保護プログラムについて、聞いたことがあるでしょう。

- 虐待やハラスメントの防止は、認識に基づくものであるため、この話題はすべての青少年交換参加者の研修セッションに含まれています。

親として、遠く離れた子供の身の安全を守るために、今できることは何ですか。

回答例

- 薬物やアルコール使用の危険性について話をする。薬物やアルコール使用の地区の方針について、子供が確実に理解するようにする。
- 母国と留学国における文化的通念の違いを予想する。こうした違いに適応するための方法について話し合う。
- 他の学生、若い人々、信頼を置く大人との社会的なつながりを通じて自分の人脈を築くよう子供に勧める。
- 性的虐待やハラスメントのリスクについて話す。
- 家庭において、開放的で心強い支援システムを提供する。
- 交際、飲酒、運転、薬物を禁じることで、ロータリー地区の規則を補強する。
- 質問や懸念事項がある場合は、地区指定のロータリー連絡先に直ちに連絡する。

復習

(5分) _____ から _____ まで

☛0 キー・ポイント

- 青少年交換学生の身の安全は、ロータリアン、ロータリアン以外のボランティア、受入れ地域の人々、親、そして学生が守るべき責務です。

研修リーダーの留意点

- すべての質問が回答されたことを確認してください。
- すべての議題が十分に話し合われたかどうかを確認するために、研修目的を復習します。
- 参加者に礼を述べます。

散会

セッション5

安全な交換体験に備えて： 派遣および受入れ青少年交換学生

(60分)

研修目的

本セッションを終了後、参加者は次のことができるようになります。

1. 留学に伴って起こりうるリスクを特定する。
2. 安全な交換に必要とされる技能と、あらゆる虐待やハラスメントに関する報告の重要性を認識する。
3. 青少年交換に参加する学生を守るためロータリー地区が取るべき手順を理解する。

資料

スライド

5. 青少年交換支援システム
6. 青少年と接する際の行動規範に関する声明

配布資料

16. 安全な交換体験に備えて：学生

任意の配布資料

17. 文化的違い

地区の配布資料

地区プログラムの規定、緊急時の対応、連絡先、その他の学生支援システムに関する情報を含む配布資料を利用することができます。

対象者

派遣および受入れ青少年交換学生

このセッションは派遣および受入れ学生両方に適用されるものですが、二つのグループはそれぞれ異なるニーズを持っているため、セッションを両グループ合わせて行わないことをお勧めします。例えば、受入れ学生は言語や文化的な問題からグループで質問をしにくい場合があるため、適切なロータリアンに個人的に話す機会を学生に提供してください。

必須研修

なし

はじめに

(10分) _____ から _____ まで

研修リーダーの留意点

- 学生のための前回のオリエンテーション・セッションは、地区青少年交換プログラムの構造、文化親善大使としての学生の責務、交換体験、プログラム規定、着たい事項、教育体験、その他の詳細などに焦点を当てるべきものでした。
- このセッションでは、学生の身の安全、特にロータリー地区や参加学生にできることは何かに焦点を当てます。
- 地区や相手地区の方針の具体的な情報をこのセッションに含めてください。

🗨️ キーポイント

- ロータリー青少年交換プログラムは、15～19歳の青年に、異文化を経験し、幅広い世界観を学ぶ機会を与えています。
- ロータリーの青少年交換プログラムには、毎年、80を超える国や地域を代表する年間7,000名以上の学生が参加しています。
- 個人として、また青少年交換親善大使として、世界を旅行するにはある程度のリスクが伴います。

留学中に皆さんが直面しうるリスクには、どのようなものがありますか。

回答例

- 盗難
- 病気やけが
- 事故
- 旅行に関する問題
- ハラスメント
- 自然災害
- 政情不安

- 薬物／アルコール濫用
- 肉体的／性的／精神的虐待

そうしたリスクは、自宅にいる場合とどのように異なりますか。

☛ キーポイント

- 自宅にいるときも、程度こそ異なるものの、これらのリスクは常に存在しています。
- 青少年交換学生は、外国人として、地元の人々とは非常に異なる外見のために、盗難や暴力のターゲットとなる可能性があります。
- 青少年交換学生は、新しい国の環境に不慣れなため、リスクを予想したり、必要に応じて助けを得ることが難しい場合があります。
- 青少年交換学生は大変自信に溢れているもので、自分で「対処できる」と考えてしまうため、より危険な状況に巻き込まれる可能性があります。
- 青少年交換学生は典型的に、優秀な成績を取めている若者であるため、病気や虐待といった問題のために助けを求めなければならない場合に挫折感を感じる場合があります。

青少年交換体験に備えて

(25分) _____ から _____ まで

青少年交換学生の身の安全を守るため、責任を担うのはどのような人々ですか。

回答例

- ロータリアンおよびロータリアン以外のボランティア
- ホストファミリー
- カウンセラー
- 学生

- 親
- 教師や受入地域のその他の人々

📌 キーポイント

- 青少年交換は地区の運営するプログラムで、国際ローターリーが確立した指針を基に、それぞれのローターリー地区が独自の方針をつくります。
- ローターリー・クラブや地区は受入れた学生の安全を守るため重大な責任を担っており、数多くの安全対策を設けています。
- ローターリー地区は、各自、地区委員長が取りまとめる青少年交換支援システムを持っています。

🖥️ スライド5を映す 青少年交換支援システム

研修リーダーの留意点

- 学生の多くは青少年保護に関するローターリーの方針に馴染みがないため、セッションのこの部分は討論よりも講義として実施するとよいでしょう。
- 参加者には、発表の終わりまで質問を待ってもらおうよう伝えます。

青少年交換支援システム

- ・ 地区ガバナー
- ・ 地区青少年交換役員
- ・ クラブ会長
- ・ クラブ青少年交換役員
- ・ カウンセラー
- ・ ホストファミリー
- ・ 親
- ・ 学生

スライド5

🖥️ スライド6を映す 青少年と接する際の行動規範に関する声明

📌 キーポイント

- 参加するローターリー・クラブや地区は、青少年交換学生の身の安全を守るため、全力を傾けています。
- 青少年交換プログラムで学生と接触のある成人については、申し込み書、身元照会や経歴照会、面接を通じて完全な審査が行われます。
- ホストファミリーは、異文化を学ぶことに関心があり、学生を受入れることを希望するボランティアです。
- 子供の留学の条件として受入れを義務付けられている家庭はありません。またホストファミリーに金銭は支払われません。

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ローターリーは、ローターリーの活動に参加するすべての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしている。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアの人々は、ローターリーを通じて関わる児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待を防止して、彼らの身の安全を守るために最善を尽くす責任がある。

スライド6

- ロータリー・ボランティアは、学生の受入れの前に、ホストファミリーを訪問し、面接を行います。
- 受入側のカウンセラーは、学生と受入れロータリー・クラブとの連絡役を務めます。彼らは学生が新しい環境に順応するのを助け、交換中に支援を提供します。
- ロータリー・クラブや地区は、より良い交換体験を確実に行えるよう、交換の前後や期間中にすべての青少年交換学生に対して指針や支援を提供します。
- 学生や親は、緊急時に常に誰かに助けを求められるよう、クラブと地区レベルの数名のロータリアンの連絡先を受け取ります。
- 各地区は、地元の支援サービスのリストを受入れ学生に提供します。

留学中の自らの安全のためにできることは何ですか。

回答例

- 自宅にいるときよりもより慎重に行動する。
- 周囲に警戒を払う。
- 青少年はどのように振舞うべきかについてより理解するため、受入国の文化を学ぶ。
- 恥ずかしいと思うことであっても、信頼できる大人と問題について話し合ったり、質問をしたりする。
- 新しい国での生活に慣れるには、浮き沈みがあることを認識する。
- 受入国の言語を学ぶ努力をする。
- 安全で前向きな活動を楽しむような友人を選ぶ。
- 学校または地域のグループに参加する。
- あらゆる懸念事項について話し合うために、カウンセラーに定期的に会う。
- 信頼のできる人物がいつでも自分の居場所を知っているようにする。

📌 キーポイント

- 学生のための支援システムには、学生の行いに関する諸規則が含まれます。
- こうしたプログラムの規則は、ホストファミリーや留学国に順応するのを助け、適切な行動のための指針を提供し、危険性のある活動から学生を守ることで、学生を保護することを目的としています。
- プログラムの規則（「4つのD」と呼ばれ、Dating [交際]、Driving [運転]、Drinking [飲酒]、Drugs [薬物] の4つを禁じています）は、地区ごとに若干異なるものですが、常に禁じられているのは、薬物やアルコールの使用、運転、承認なしの旅、および交際です。

📄 配布資料16を参照

安全な交換体験に備えて：学生

プログラムの諸規則は、皆さんの安全をどのように守ることができますか。

研修リーダーの留意点

- 派遣学生については、学生が慣れている決まりよりもやや厳しいと感じられるかもしれませんが、守るべき規則の具体例を説明します。
- 受入れ学生については、青少年交換学生のための地区の規則を文書で配布し、学生保護に焦点を当てた規則を紹介します。

📄 地区の配布資料を参照

地区プログラム規則、緊急時の対応、連絡先、その他の学生支援システムの情報

研修リーダーの留意点

- 青少年交換学生に関する地区方針やプログラムの規則について質問があるか参加者に尋ね、回答する時間を設けます。

青少年交換学生が、虐待やハラスメント防止に関する特別な研修を受ける必要があるのはなぜですか。

🔑 キーポイント

- 青少年は、自国にいても海外にいても、虐待やハラスメントを受けるリスクに晒されています。
- 虐待やハラスメントの防止は、認識に基づくものであるため、この話題はすべての青少年交換参加者の研修セッションに含まれています。

研修リーダーの留意点

- 受入れおよび派遣学生のために、該当する場合は肉体的な接触に関する規定も含め、虐待やハラスメントについての地区指針の例を説明します。
- 受入れ学生には、男女間や大人と子供の間で文化的に許容されている行動、交際や、それに関連する事柄についての文化的通念に関して詳しい情報を提供します。
- 派遣学生へは、母国での文化通念と、それが他の文化でどのように誤解を招く可能性があるかについて説明します。

ハラスメントと思うのはどのような言動ですか。

挙げられた言動の一部は、文化的な相違に関係していると思いますか。

自分の文化における言動で、他の文化からはハラスメントと誤解されうる例はありますか。

任意演習

📄 配布資料17を参照

文化的に注意すべき事柄

皆さんや皆さんの知り合いが虐待やハラスメントを受けている場合、何をすべきですか。

回答例

- 信頼できる大人に報告する。受入側カウンセラー、ホストファミリー、クラブまたは地区青少年交換役員、教師、親など。
- 虐待やハラスメントの事態を打ち明けた友人に、信頼できる大人に報告するよう勧めたり、助けを申し出る。
- 助けられる人に話をする。
- 直感を信じる。

🔑 キーポイント

- 報告されない限り、虐待は止まらないものです。
- 状況について話しにくいと感じる場合でも、礼儀正しくするよりも身の安全を確保することの方が大切です。
- 大人の対応が満足でないと感じる場合は、他の誰かに話をします。
- 正しいと思えない場合、おそらくそれは正しくない状況なのです。
- 青少年交換プログラムは、すべての参加者を守るよう努めています。
- すべての参加者の安全を確保するため、学生はあらゆる虐待やハラスメントの事態を報告するよう奨励されています。

研修リーダーの留意点

- 派遣学生については、受入地区に安心して事態を報告できる人がいない場合や、受入地区が満足に事態を解決できない場合、学生が連絡できる派遣地区のロータリアンを指定しておきます。これは交換の始めの段階で学生が現地の言葉にそれほど慣れていない時期に、特に重要となります。
 - 受入学生については、事態を報告するための完全な地区指針と数名の連絡担当者を提供します。
-

復習

(5分) _____ から _____ まで

🔑 キーポイント

- 青少年交換学生の身の安全は、ロータリアン、ロータリアン以外のボランティア、受入れ地域の人々、親、そして学生が守るべき責務です。
 - 学生は虐待やハラスメントの事態を報告することが奨励されています。
-

研修リーダーの留意点

- すべての質問が回答されたことを確認してください。
 - すべての議題が十分に話し合われたかどうかを確認するために、研修目的を復習します。
 - 参加者に礼を述べます。
-

散会

配布資料1

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしている。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアの人々は、ロータリーを通じて関わる児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待を防止して、彼らの身の安全を守るために最善を尽くす責任がある。

この行動規範を支えるために、具体的にどのような行動を取ればよいでしょうか。

•

•

•

•

配布資料2

虐待とハラスメントに関する事実

以下の事柄に関するあなたのお考えについて、該当する番号に印を付けてください。

	非常に そう思う		全然そう 思わない		
1. 性的虐待やハラスメントの多くは他人同士の間にかかるものである。	1	2	3	4	5
2. 十代の子供たちは、注目を集めようとして、または大人から自分の欲しいものを得ようとして、性的虐待やハラスメントの虚偽の事実を作り上げている。	1	2	3	4	5
3. 教師が学生に触れた場合、感情的に著しく傷つくのは過度に敏感な学生のみである。	1	2	3	4	5
4. 大人が若い人々と良い関係を保っている場合、その成人が性的虐待者である可能性は非常に低い。	1	2	3	4	5
5. アルコールを摂取し、麻薬を使用し、夜遅くまでダンスクラブにいるような若者は、性的虐待やハラスメントの被害者となることを自ら申し出ているようなものだ。	1	2	3	4	5
6. 性的虐待やハラスメントの十代の被害者は、起こった出来事に対して責任を感じるため、秘密にする場合がしばしばある。	1	2	3	4	5
7. 女学生の体つきについて噂話をする成人ボランティアは、性的ハラスメントを行っていることになる。	1	2	3	4	5
8. 男性が女性から性的虐待を受けることもある。	1	2	3	4	5
9. ホストファミリーの成人した兄弟が交換学生の部屋にポルノ雑誌を置いていくことは、性的虐待にあたる。	1	2	3	4	5

配布資料3

性的虐待とハラスメントの定義

性的虐待とは、学生に対して間接または直接に性的な行動を及ぼすこと、あるいは学生が単独で、または同性・異性および年齢を問わず、他の人との間接または直接的な性的行動に及ぶことを強制あるいは促すことを指します。これは、公然わいせつや若い人々に性的資料またはポルノ類を見せるなど、接触を伴わない攻撃も含まれます。

性的ハラスメントとは、性的な誘いかけ、性的行為の要求、あるいは性的な性質を持つ口頭または身体的言動を指します。時に、性的ハラスメントは性的虐待へと発展し、性犯罪者が被害者の感覚を鈍らせたり、手なずけるために用いられる場合があります。

性的ハラスメントには次のような例が含まれます。

- 性的な言葉、冗談、性的言動に関連する書面あるいは口頭による言及、若い人々がいる前での個人の性生活に関する話、個人の性的活動、欠陥、能力に関する言及
- 性的な性質を持つ言葉による虐待
- 性的な示唆を含む物、写真、絵などの提示
- 性的な示唆を含む目線や口笛、衣服に付いたゴミを払い落としたり、触るなどの不適切な身体的行動、卑猥な言語または身振り・手振り、および性的示唆や侮辱を含む言葉

虐待やハラスメントであるかどうか

申し立てられた言動が性的虐待または性的ハラスメントに該当するか否かは、申し立てられた成人側が判断することではありません。すべての申し立てを慎重に扱ってください。

虐待やハラスメントに関する情報について話し合い、虐待やハラスメントの定義を読み終えた後、あなたが最も驚いたことは何ですか。3つ挙げてください。

•

•

•

配布資料4A

防止方法と参加者

虐待やハラスメントの防止には、選考、研修／オリエンテーション、意思疎通と支援、その他の方針の4つの主要分野で、プログラム参加者が熱心かつ慎重に行動することが極めて重要です。

下の四角の中に、青少年プログラムにおいて効果的な防止システムをつくるための人材、方針、任務を書き込んでください。

選考	研修／オリエンテーション
人材	人材
方針	方針
任務	任務
意思疎通と支援	その他の方針
人材	人材
方針	方針
任務	任務

効果的な防止プログラムのために検討すべき、その他の重要な事柄は何ですか。

虐待やハラスメント防止を支援する環境をつくるために何ができますか。

配布資料4B

防止方法と参加者：青少年交換

虐待やハラスメントの防止には、プログラム参加者の熱意が必要です。これらの参加者は、選考、研修／オリエンテーション、意思疎通と支援、その他の方針の4つの主要分野について慎重に行動します。

参加者を最大限に守るために、以下の人物やプログラム要素についてどのように取り組んでいくことができますか。適切な方針にはどのような基準が必要ですか。防止手段のキットの各項目を、該当する欄に記入してください（同じ項目を複数の欄に書き込むこともできます）。また、独自のアイデアも各欄に書き込んでください。

防止ツール・キット

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| A. 青少年ボランティア誓約書 | K. 緊急連絡先のリスト |
| B. 身元調査 | L. 青少年プログラム参加者への接触の制限 |
| C. 経歴照会 | M. 派遣学生の両親に対する受入義務を除外 |
| D. 書面による申込み | N. 各学生へのカウンセラー（顧問） |
| E. 個人面接 | O. ホストファミリー以外の方が務める相談役 |
| F. 家庭訪問 | P. 虐待やハラスメントについてのゼロ容認方針 |
| G. 複数のホストファミリー | |
| H. 研修やオリエンテーション | |
| I. 地元の法律や慣習についての情報 | |
| J. プログラム必須要項についての書面による同意 | |

	選考	研修／ オリエンテーション	意思疎通と支援	その他の方針
学生と両親				
地区役員と ボランティア				
クラブ役員と ボランティア				
ホストファミリー				

配布資料5

事例研究：虐待やハラスメントであるかどうか

以下のシナリオを読み、それに続く質問に答えてください。

シナリオ1：「ホアン君の場合」

あなたは地区大会で、青少年交換学生ホアン君が友人と話しているのを見かけました。ホアン君は見るからに動揺しています。クラブ会合で数名のロータリアンが各自の性生活について詳細に話をすると、ホアン君が友人に漏らしているのが聞こえます。ロータリアンは、会話に加わらなかったホアン君が同性愛者で、性器に劣等感をもっているのからかったそうです。このような行動が続いたので、ホアン君は受入クラブのカウンセラーでもあるホストファミリーの父親に話しました。しかし、ホストファミリーの父親は、「男だからさ」と笑い飛ばしました。ホアン君は、もう二度とロータリー・クラブの例会には出ないことに決め、まもなく別のホストファミリーに移るのよかったですと、友人に話していました。

シナリオ2：「エイミーさんの場合」

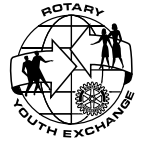
地区青少年交換委員長が、青少年交換学生であるエイミーさんと彼女のホストファミリーの子供の友人、マリック君にまつわる事件を話しました。ある日、マリック君がエイミーさんと二人きりになった時、彼が彼女にデートを申し込みました。エイミーさんは彼とデートすることに興味がなかったため、これを断りました。しかし、マリック君はその後にもデートに誘い続けました。不快に感じたエイミーさんは、そのことをホストファミリーの母親に話しました。ホストファミリーの母親はそれに対し、自分たちの文化では、女性が男性に興味がある場合、男性の誘いを4～5回断るものだと説明しました。

シナリオ3：「ラオさんの場合」

あなたはあるボランティアからの電話を受け、青少年交換学生、ラオさんを取り巻く状況について助言を求められました。このボランティアによると、ラオさんから次のような報告を受けたということです。ホストファミリーの父親はドアを開けたままシャワーを浴び、それから裸のまま家の中を歩き回り、また1週間前には、ホストファミリーの父親が、彼女のベッドの横に2冊のポルノ雑誌を置いていった、ということです。このボランティアはラオさんからの話を信じましたが、何をすべきかまったくわからなかったため、ラオさんをとりあえずホストファミリーの元へ帰し、あなたへ電話をしたということです。

1. それぞれのシナリオで交換学生に起こったことは何ですか。それは性的虐待ですか。またはハラスメントですか。それを判断するのは誰ですか。
2. 交換学生は誰にこの事件を報告しましたか。報告を受けた人はどう反応しましたか。
3. 各状況において、報告を受けた人物はどのような正しい行動を取りましたか。改善すべき点は何ですか。

配布資料6



ホストファミリーの役割

- あなたと学生の間で信頼と友情を育むことのできる安全で、脅威のない、尊重される適切な環境を提供しなければなりません。
- 学生が家族の一員であると感じられるよう、学生を支援します。学生の話に耳を傾けます。
- いかなる問題が起きた場合にも迅速に対応し、解決できるよう、受入れロータリー・クラブとの緊密な連絡を維持する必要があります。
- ロータリー・クラブや地区からホストファミリーのために提供される研修およびオリエンテーションに参加します。
- 食事制限や医療的な注意事項など、学生の特別なニーズを把握します。
- 支援ネットワークの人々への連絡方法を学生が知っていることを確認し、問題をあなたと話し合うことができないうと学生が思ったとしても、それを脅威に感じないでください。
- 世話をしている学生について質問や懸念があれば、どんなに些細なことでも、学生のカウンセラーもしくは受入れロータリー・クラブの会長または地区青少年交換委員長に連絡してください。
- 緊急時に備え、ロータリーの担当者や社会福祉課に迅速に連絡を取れるようにしてください。
- 学生が家庭に到着する前に、学生と連絡をとってください。可能な限り、学生の家族ともコミュニケーションをとるようにしてください。
- 交換学生に部屋と食事を提供します。学生には専用のベッドが必要です。学生が部屋を共有しなければならない場合、可能な限り、同性で同じ年代の子供と同じ部屋を使用します。
- 学生の誕生日やその他の特別な記念日を祝います。
- 学生の福利を確保するため、監督または保護者としての責務を果たします。
- 新しい国の生活を体験する中で学生が直面する問題を理解するよう努めます。
- 学生を隣人、友人、地域団体に紹介することで、学生が地域社会の生活に参加できるよう支援します。
- 自分たちの文化について教え、学生の母国の文化について学びます。
- 学生とその家族に適用されるプログラム規定を理解します。
- 交換の期間中、学校、家族、地域での活動、友人探しといった事柄について、学生に助言を与えます。

配布資料7

性的虐待やハラスメントを示唆する事柄や兆候の認識

性的虐待やハラスメントを示唆する事柄や兆候には、以下のようなものがあります。

- 極度な活動または引きこもり
- 自尊心が低い
- 恥じらいの感情を表す
- 対人恐怖、特に特定の個人に対する恐怖心
- 学校の成績の低下
- 摂食障害
- 不眠症
- 興奮性または怒りの爆発
- 集中力の欠如
- 事件を思い出させる人、場所、事柄を避けること
- 不安神経症またはうつ病
- 悪夢
- 頭痛、胃腸障害、腹、背中、骨盤の痛み
- 自殺願望
- 薬物やアルコール飲用の問題
- 攻撃的／危険な行動や反社会的な行動

出典： American Medical Association, *Strategies for the Treatment and Prevention of Sexual Assault*（米国医療協会、「性的暴力の治療と防止の方策」）(www.ama-assn.org/ama1/pub/upload/mm/386/sexualassault.pdf)

配布資料8

虐待やハラスメントの報告

1. 注意深く耳を傾け、冷静に対応する。虐待を報告することは大変勇気ある行動であることを認める。話を聞き、励ますことは適切である。ショックや恐れ、不信感を表さない。
2. プライバシーを守ることを約束するが、極秘ではない旨を伝える。事態に歯止めをかけ、他の人々にも同様の事が起こらないよう、虐待やハラスメントについて誰かに伝える必要があることを説明する。
3. 事実を収集するが、尋問のように問いただすことはしない。何が起こり、誰がそうしたかを聞く。あなたに事実を伝えることは正しいことであることをその青少年に伝える。「なぜ」の質問は避ける。あなたの責務は、適切な当局に報告された話を伝えることであることを銘記する。
4. 中立的な立場を保ち、かつ安心感を与える。起こったことについて、学生や他の当事者に対する批判的な態度を取らない。青少年を責めたり、批判しないことは、特に重要である。事態の責任はその青少年にはないこと、そして、あなたにこの件を伝えたのは勇気があり、成熟した行動であることを青少年に伝えて、安心させる。
5. 記録する。できるだけ早く会話を書面に記録する（会話の日付や時間を含む）。青少年が使った言葉を用いて、青少年が話した通りに記録する。
6. 青少年保護または法的機関に連絡する。青少年プログラムに関与するロータリアンやその他の大人は、申し立てに関する法的影響やその深刻さを判断する訓練を受けた専門家ではない。よって、申し立てが虐待やハラスメントに関係するかどうかを自分たちだけで判断すべきではなく、青少年の虐待またはハラスメントに関する申し立てへの対応を心得ている青少年保護当局、法執行機関、あるいは地区青少年保護役員と緊密な相談をして決定を下す必要がある。
7. ロータリーの担当者に報告する。地区青少年保護役員、地区青少年プログラム委員長、または地区ガバナーのいずれかが72時間以内にRIへ連絡できるよう、ロータリー担当者に通知を行う。

配布資料9

示唆事項や兆候についての事例研究：「リタさんの場合」

青少年参加者は、ロータリアンに心配事を相談しにくいと感じることもあるため、成人ボランティアが兆候を見逃さないよう注意し、必要な場合は支援に入る必要があります。

以下のシナリオを読み、それに続く質問に答えてください。

17歳のリタさんは、明るく、知的で、信頼の置ける少女で、海外での生活体験を待ち焦がれていました。リタさんが留学先に到着すると、ロータリー・クラブは彼女を歓迎し、地区はリタさんに素晴らしい組織の一員であると感じてもらえるよう努めました。彼女は、学校で他の学生や交換留学生とも友達になりました。彼女は大人にも子供にも、大変人気がありました。

ところが、交換の半分を過ぎた頃、リタさんの受入れクラブからの報告があり、リタさんが出席を義務付けられていたロータリー会合に3回も欠席している、ということです。報告には、新しいホストファミリーからのコメントもあり、リタさんは家族行事に参加しなかったり、自分の部屋も掃除せず、受入側の母親がつくった料理を口にすることを拒んでいるそうです。

1. リタさんはどのような問題を抱えていると思いますか。
2. リタさんが性的虐待やハラスメントを受けている兆候があるかどうか、または彼女はその他の問題を抱えているかどうか、どのように判断することができますか。
3. 最近リタさんに直接会っていない場合、その他にどのような情報が必要ですか。
4. 何が起きているのか見極めるため、リタさんに接する最善の方法は何だと思いますか。

配布資料10

報告と事態解決のための措置に関する事例研究：「ジェイコブ君の場合」

パート1：学生の報告

16歳のジェイコブ君は交換6カ月目です。1週間ほど前、ジェイコブ君のホストファミリーの母親からカウンセラーへ電話がありました。彼女がカウンセラーに話すところによると、ジェイコブ君はまた昨晚、家からこっそりと抜け出し、酔っ払って帰宅したということです。ジェイコブ君は、どこへ行っていたのか話すことを拒み、自分の部屋に入って鍵を閉めてしまいました。ホストファミリーの母親はジェイコブ君への対応に疲れ果て、ロータリー地区がジェイコブ君を帰国させることを望んでいます。

ジェイコブ君のカウンセラーは、ジェイコブ君と話し合いの場を設けました。そこでは、ジェイコブ君は自らの行動について話すのを拒否し、「（ホストファミリーの母親は）何が起きているのか知らないんだ」とだけ言います。クラブ青少年交換役員は次週まで出張中であったため、カウンセラーは報告書を書き上げ、役員が戻り次第、役員と会う手はずを整えました。さらに、カウンセラーは地区青少年交換委員会に電話をし、状況を説明しておきました。週末にジェイコブ君は数名のクラブ会員の監督の下、地区大会へ出席し、地区委員会が準備した活動に参加する予定だったからです。

大会初日の夜、午前2時15分、地区青少年交換委員長はホテルの部屋のドアを叩く音で目を覚ましました。地区役員がドアを開けると、ジェイコブ君が廊下を行ったり来たりしていました。ジェイコブ君はすぐさま役員の横を押しのけて部屋に入ると、「受入れクラブが僕を帰国させようとしている！ロータリアンが僕についての嘘をばら撒いているんだ！」と叫びました。

ジェイコブ君はあなたにこう話しました。彼は受入れクラブの青少年プログラム委員長である45歳の女性と関係を持ってしまい、歯止めが利かなくなってしまったとのこと。また、受入れクラブの会員は皆、委員長の友人であるため、誰にも相談することができなかったと言います。

1. ジェイコブ君との会話をどのように続けますか。
2. この件についてあなたに話をしても大丈夫だとジェイコブ君に感じてもらうため、あなたは何を行いますか。
3. ジェイコブ君を追い込まずに、実際に何が起こったのかをどのようにして探ることができますか。
4. どのような言動を避けるべきですか。

パート2：対応プランをつくる

ジェイコブ君と話し、最初の報告を受けた後、RIおよび地区の方針に従って行わなければならない行動がいくつかあります。直後の対応として、4つの行動計画を作成してください。

1.	
2.	
3.	
4.	

ジェイコブ君について、あなたは直ちにどのような行動を取りますか。

この状況について、その他に誰に通知しますか。

申し立ての調査について、誰が関与すべきですか。誰を関与させるか判断するために、あなたが知っておくべき要素にはどのようなものがありますか。

この時点で、申し立てのあったクラブ青少年プログラム委員長に対して、どのような対応が取られるべきですか。

パート3：継続または帰国

虐待やハラスメントを受けた青少年交換学生は、母国へ帰されることを恐れ、事件を報告しない場合があります。青少年交換役員は、虐待やハラスメントの報告をした学生について、学生の両親が帰国を希望した場合、学生自身が帰国を希望した場合、または学生の安全を考慮して帰国が必要とされる場合にのみ、母国に帰ることとなりますが、その国の文化を尊重する責務があります。ロータリアンの世間体を守ることは、学生を早期に帰国させる理由とはなりません。

シナリオ

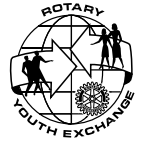
ジェイコブ君は、クラブ青少年プログラム委員長と「関係をもった」と地区青少年交換委員長に報告しました。この件が警察に報告されると、ジェイコブ君は未成年者であったため、性的虐待の申し立てとして調査が始まりました。該当のクラブ役員は委員長の役職を解任され、ロータリー・プログラムの青少年とのあらゆる接触を禁じられたほか、クラブ会長は彼女にしばらくの間クラブを欠席するよう要請しました。そして次に行うべきことを決定する委員会が結成されました。

クラブ青少年プログラム委員長は、ジェイコブ君が自分との関係について、誤解をしていると言います。数名のクラブ会員は署名付きの書簡を委員会に提出し、ジェイコブ君が高校の陸上部のメンバーと深夜にお酒を飲んでいるのを目撃したと証言し、受入れクラブの青少年交換役員もジェイコブ君が規則違反を隠すために虚偽の作り話を報告したと考えています。ジェイコブ君が交換中にアルコールを飲用したという証拠は信憑性が高く、このために、少なくとも半数の委員がジェイコブ君を帰国させるべきだと考えています。また、精神的な支援という観点からも、家族と一緒にいるのがジェイコブ君のためだと言う人もいます。また委員の多くは、ジェイコブ君が帰国すれば、警察もこの件に関する調査をあきらめるだろうと考えています。

ジェイコブ君は帰国を望んでいません。アルコールを飲んだことについては、クラブ青少年プログラム委員長がジェイコブ君を週末旅行に連れて行った際、お土産と高価なアルコールをもらい、贈り物を断れないと感じたからだ、と説明します。また地区青少年交換委員長に話すところによると、帰国させるという脅しで誰もジェイコブ君の言うことを信じないものと思い込ませ、クラブは青少年プログラム委員長の名誉を傷つけたことに対してジェイコブ君に罰を与えている、と訴えます。ジェイコブ君は、自分が早期に帰国すれば、起こったことを誰もが知ることになると大変心配しています。

1. あなたが地区青少年交換委員長であったなら、ジェイコブ君の交換についての対応を判断するロータリアンに何を話しますか。
2. ジェイコブ君、彼の家族、そしてロータリーに対するあなたの責任とは何ですか。
3. 間違っただ理由から学生が早期に帰国させられてしまわないような環境を、どのようにして築くことができますか。

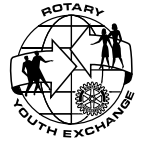
配布資料11



カウンセラーの役割

- 学生の擁護者となる。
- 学生を支援し、学生がロータリー家族の一員と感じられるようにする。
- 学生とロータリー・クラブ、ホストファミリー、学校、および地域社会全体との**連絡役**となる。
- クラス、友人、活動の選択といった事柄について、学生に指針を提供し、相談にのる。
- 学生が文化や言語に適応するのを助ける。
- 学生との定期的な連絡（少なくとも月1回）を保ち、連絡を文書化する。
- 学生の意見や心配事に注意深く耳を傾ける。
- 助けを必要とする場合、学生が連絡できる人物または団体の連絡先のリストなど、受入れクラブや地域についての一般情報を提供する。
- 到着前に学生と連絡をとり、クラブや地区が期待する事柄について説明する。
- 地域社会や学生の学校と協力し、学生が前向きな活動に参加して地域の生活に溶け込めるようにする。
- 学生が性的虐待やハラスメントの問題について情報を得るのを助け、学生が自分の心配事を安心して話すことができる協力的な雰囲気をつくる。
- 虐待やハラスメント防止に関するRIや地区の方針について知っておく。
- 性的虐待やハラスメントの兆候や適切な対応方法について把握しておく。

配布資料12



地区およびクラブの青少年交換役員の役割

地区およびクラブの青少年交換役員（両者に共通）

- 青少年交換学生のための効果的な支援システムをつくる。
- 青少年保護に関する地区およびRIの方針すべてを遵守する。
- 青少年交換の参加を調整し、青少年交換のクラブや地区の責務をすべて遂行するために、クラブや地区の青少年交換委員会と密接に協力する。
- RIおよび地区の方針や手続すべてを把握し、青少年交換プログラムの運営が確実にこれらを遵守するようにする。
- 交換のためにクラブが派遣するすべての学生を慎重に審査、面接、選考する。
- プログラムにおけるすべての成人ボランティアを慎重に審査、面接、選考する。
- すべての参加者が期待事項と責務について十分理解するようにする。
- 交換中を通じて、派遣学生および受入学生との定期的な連絡を保つ（これには、すべての学生とその連絡先のリストの管理も含まれる）。
- 旅行計画やビザの手配を調整する。
- クラブや地区の青少年交換の方針をつくり、見直す。
- あらゆる申し立てに迅速かつ完全に対応する。

地区青少年交換役員

- 学生を派遣または受入れた際、およびすべての交換中に、相手国の担当者と継続して連絡をとる。
- 国外の地区や地区内のクラブとの連絡役を務める。
- 地区内の青少年交換の活動すべてについて、地区ガバナーに報告する。

クラブ青少年交換役員

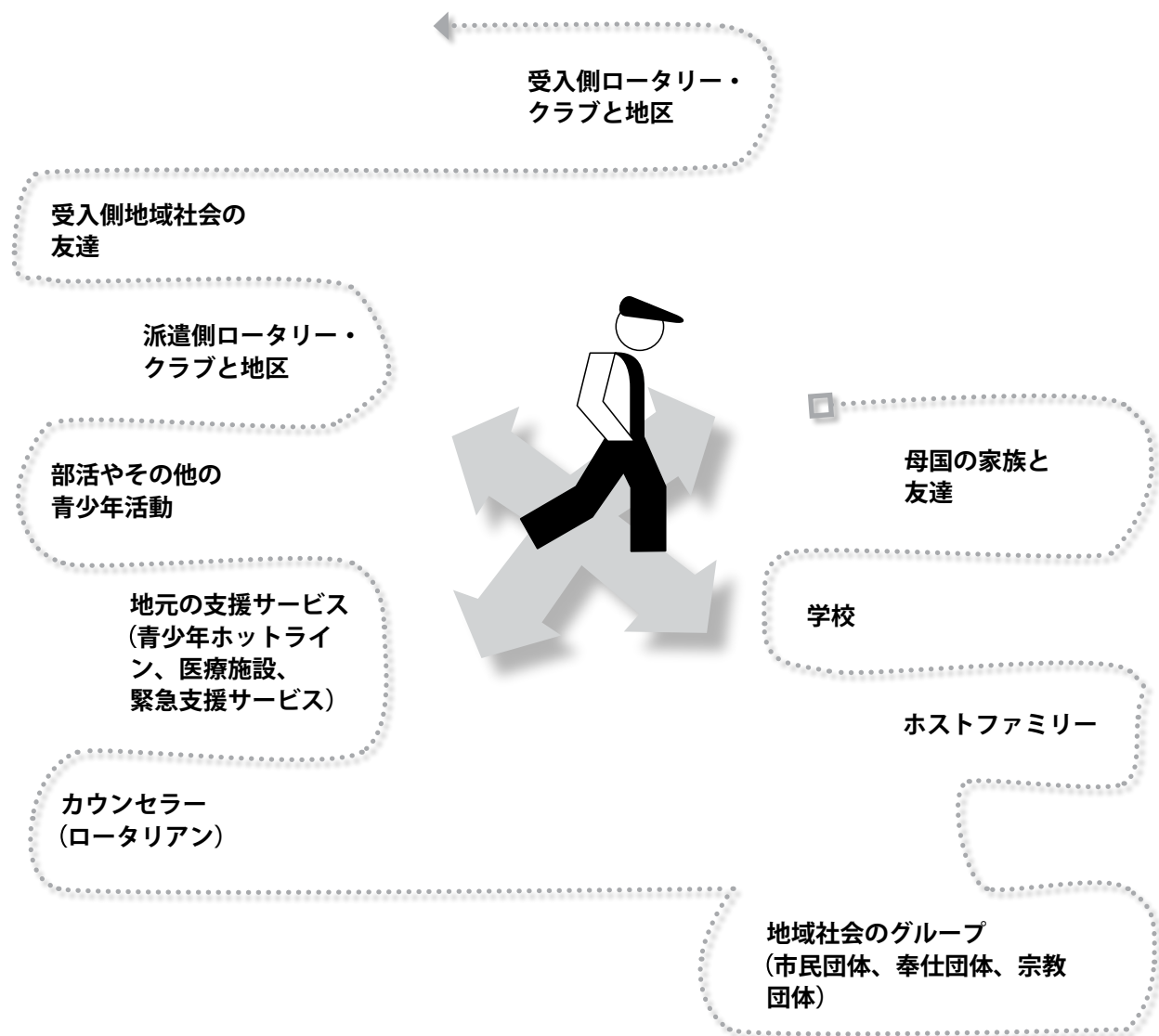
- ホストファミリー、両親、学生、カウンセラーに、虐待とハラスメント防止に関する研修やオリエンテーションへ必ず参加してもらう。
- クラブの青少年交換活動すべてについて、クラブ会長に報告する。
- 学生のホストファミリーや学校探しを調整する。

配布資料13

支援システムをつくる

青少年は、社会的に孤立していたり、居心地の悪い環境に置かれた場合、特に虐待やハラスメントの被害を受けやすいものです。地区青少年交換役員は、新しい土地での支援源を紹介することで、学生のための支援システムを築くことができます。

下の表にある支援源を学生に紹介するための方法を、少なくとも1つ書き込んでください。地元でその他の支援源がある場合は、それらを空欄に記入してください。



交換学生と地域社会を隔ててしまう特別な障害には何がありますか。あなたはそれをどのように解決しますか。

配布資料14



安全な交換体験に備えて：親

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしている。全ロータリアン、その配偶者、ボランティアの人々は、関わる児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待を防止して、彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある。

子供の留学に備える両親のための指針

青少年は多くの自己防衛の技能を備えているものです。ここで両親が行うべきことは、学生が留学に向けて十分に備えられるよう、こうした防衛の技能をさらに磨くのを支援することです。自信に満ち、明確な支援態勢を持ち、さらに危険や不快感を感じた際に迷わず人に相談できる学生は、窃盗、虐待、ハラスメント、その他の犯罪の被害者となりにくいものです。

- 自分の娘や息子の面倒を見てくれる人と知り合いになる。
- 子供に、心配事や不安について話すよう促し、それを軽視しない。
- 常に意思疎通が図れる状態を保つ。
- 学生を助ける人や方法があることを伝える。

学生が安全な交換体験をできるよう、今から留学出発までの間にできることを4つ挙げてください。

-
-
-
-

配布資料15



事例研究：交換学生の両親

青少年交換学生の両親は、心配事や不安について話すよう促したり、常に意思疎通が図れるよう努め、さらに学生を支援するための方法や人々がいることを伝えるなど、学生の安全に対する責務を担っています。

シナリオ1：「マイケル君の場合」

15歳のマイケル君の両親は、マイケル君が交換学生となるための準備ができていないことを心配しています。マイケル君は一度も国外へ出たことがないばかりでなく、1週間以上親元を離れた経験がありません。オリエンテーションから自宅へ帰る車の中、マイケル君が音楽を聞いている横で、両親が話を始めました。マイケル君の交換や知っておいてもらいたいことについて出発前に話すちょうどいい機会だと考えたからです。危険な状況の回避方法や何か事態が起きたときに相談すべき人について話し合えるよう期待しながら、両親はマイケル君に話を聞いてもらおうと努めます。

シナリオ2：「サーシャさんの場合」

サーシャさんは両親、その他の大人や友達とも仲良くしています。彼女は大変熱心に自分の旅のあらゆる事柄について話したがりますが、同時に、自分はすべてを知っていると考えがちで、両親からの助言が必要だとは感じていません。両親はサーシャさんにアドバイスをしようと思いますが、彼女は大抵、「はい、はい、わかってる」と答え、他に自分の関心のある話題に移ってしまいます。両親はサーシャさんの危険回避能力を磨き、留学中に起こりうるリスクについて話し合いたいと考えています。

シナリオ3：「マイさんの場合」

16歳のマイさんは、青少年交換学生となることを大変楽しみにしており、両親が彼女の安全を心配していることを話し出すと、いつもむきになって反発します。マイさんは両親が過保護だと感じ、独り立ちをさせてくれることを望んでいます。マイさんと両親はちょうど、生徒に性的虐待を行った教師が逮捕されたニュースをラジオで聞きました。マイさんの両親は、海外で生活する際に虐待やハラスメントから身を守ることに、自然に話を始める良い機会だと考えました。

1. 海外での安全について話を切り出す際のコツは何ですか。
2. どのような話題について話し合いたいと思いますか。
3. できれば話すのを避けたいと思うような難しい話題には、どのようなものがありますか。それらの話題についてどのように話をしようと計画していますか。
4. 留学中の安全の問題や心配事について、あなたに相談できると感じてもらうために、あなたは息子や娘に対して何ができますか。

配布資料16



安全な交換体験に備えて：学生

青少年と接する際の行動規範に関するロータリー声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしている。全ロータリアン、その配偶者、ボランティアの人々は、関わる児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待を防止して、彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある。

留学に備える学生のための指針

皆さんはこれまでの生活を通じて、多くの自己防衛の技能を身につけています。今回は、それをさらに新しい環境で適用する方法や、交換中に身を守るための役立つ新しい技能を学びます。自信に満ち、明確な支援態勢を持ち、さらに危険や不快感を感じた際に迷わず人に相談できる学生は、窃盗、虐待、ハラスメント、その他の犯罪の被害者となりにくいものです。

- カウンセラー（顧問）、ホストファミリー、クラブや地区の役員、その他に支援を提供してくれる大人と知り合いになる。留学に出発する前から、海外の支援システムのメンバーと連絡を取り始める。
- 自分や両親の心配事について、両親と話し合う。心配事を話しても大丈夫であることを知る。
- 常に意思疎通が図れる状態を保つ。
- 留学先の言語、文化、地域社会について学び、到着後に危険を避けたり、支援を求められるよう備えておく。

安全な交換体験をできるよう、今から留学出発までの間にできることを4つ挙げてください。

•

•

•

•

配布資料17



文化的に注意すべき事柄

相対的な価値観

他国で生活することによって、それまでの自分の知識とは異なることを学ぶ機会が得られます。青少年交換学生として、異なる服の着方から男女関係の違いまで、価値観や観念について母国と留学国との違いを発見することでしょう。

母国または留学国で・・・

- 若者は大人を名で呼びますか。または姓で呼びますか。
- 家族同士ではどのように挨拶をしますか。友人、学校の友達、仕事仲間、男性、女性とは、通常どのように挨拶をしますか。
- 家族以外の人とキスや抱擁を行うのは、どの程度一般的ですか。握手はどうですか。
- 服装は控えめですか。カジュアルですか。フォーマルですか。
- 不愉快、攻撃的、無礼と考えられる身振り・手振りはどのようなものですか。
- 話をする際、通常、相手とどれくらい近づいて話しますか。

ある土地で無礼とみなされる行動も、他の土地では普通であったり、さらには相手を褒める意味で行われることもあります。以下にその例を紹介します。

- 口笛
- 指差し
- ウィンク（目配せ）
- 会話中にポケットに手を入れたままにすること
- 直接目を合わせること
- ガムを噛むこと
- スープを音を立ててすすること
- 足を組んで座ること
- 話し中に手振りを交えること



ROTARY INTERNATIONAL®

One Rotary Center

1560 Sherman Avenue

Evanston, IL 60201-3698 USA

www.rotary.org